

学校長

加賀美 敏

作成者

職名 教頭

小西一彦

◇ 本年度の学校教育目標

ふるさとを愛し、人間性豊かに、自ら考え、未来にたくましく生きぬく子ども

◇ グランドデザイン

平成30年度

白根源小学校グランドデザイン



学校教育目標
ふるさとを愛し、人間性豊かに、自ら考え、未来にたくましく生きぬく子ども



<p style="text-align: center;">みなもと小の児童</p> <p>いつでも全力（知） み 自ら学ぶ かしこい子 いつでも笑顔（徳） な 何でもやる気で がんばる子 いつでも元気（体） も 燃え立つ心 げんきな子 と 友だちみんなに やさしい子</p>	<p style="text-align: center;">みなもと小の職員</p> <p>◎意欲に溢れ、教育課題に 前向きに挑戦する職員 ○子どもの気持ちになって考える教職員 ○互いに学び合う教職員 ○組織（チーム源）で取り組む教職員 ○保護者や地域住民に信頼される教職員</p>
---	---

学校経営の基本方針

(1) 学ぶ力を育てる学校づくり (2) のびのびと生活できる学校づくり
 (3) 組織で子どもを育てる学校づくり (4) 保護者、地域に開く学校づくり

本年度の努力点 ～ つながる ～

1 「主体的・対話的で深い学び」を大切にした授業の充実
 学びにおける友達とのつながりを大切にする。 校外研修の充実、オープン授業を活用した職員間の学び合い、読書活動の充実

2 学校と家庭とが連携した活動の充実
 「チーム源」の意識を持ち学校・家庭・地域のつながりを大切にする。
 家庭との連携、情報共有、保護者支援「源小家庭学習チャレンジ週間」の取組み

3 白根源小の良き伝統のさらなる充実
 源小の宝を「明日へつなぐもの」として大切にする。
 たてわり活動、無言潮、あいさつ、集会での集まり方、歌謡競、合唱、集団整列のしかた、等

<p style="text-align: center;">確かな学力</p> <p>＊ 基礎基本の定着 <small>（学習状況の把握、朝学習・全校一斉テストの取組、言語活動の充実、学習課題の確立）</small> ＊ 「主体的・対話的で深い学び」を大切にした授業づくり <small>（外国語活動の充実、校外研修の充実、よまなしスタンダードの共通理解、オープン授業・ICT機器の活用）</small> ＊ 個に応じた学習指導の充実 <small>（一人ひとりの良さを発見できる授業、算数のT・T授業）</small> ＊ 学び続ける意欲の形成 <small>（家庭学習の充実、学習習慣の形成、学習の甲斐さや楽しさの取組）</small></p>	<p style="text-align: center;">豊かな心</p> <p>＊ 基本的な生活習慣の確立 <small>（あいさつ運動、源のきまり旅行、無言潮）</small> ＊ 人や物との関わりへの重視 <small>（体験学習の充実、縦割り活動、校外学習、地域学習）</small> ＊ 道徳教育の充実 <small>（道徳授業の充実、外部講師の活用、小笠原流礼法）</small> ＊ 魅力ある読書指導 <small>（読み聞かせ、親子読書、読書の日常化）</small> ＊ 児童理解の推進 <small>（居場所づくりを中心とした心の未然防止、Q-U検査、児童の情緒交換、アンケート調査）</small></p>	<p style="text-align: center;">健やかな体</p> <p>＊ 児童会・学級活動の充実 <small>（自治活動・縦割り活動の推進）</small> ＊ 運動の日常化 <small>（体力テストの結果に基づく授業改善、一校一実践活動の推進）</small> ＊ 生活習慣の確立 <small>（食育の推進一校一実践、早寝・早起き・朝ごはん・スッキリランチの奨励）</small> ＊ 健康・安全活動の推進 <small>（保健指導と調査の充実、体験活動の指導の推進）</small></p>	<p style="text-align: center;">特色ある学校づくり</p> <p>＊ 交流教育の充実 <small>（わかば支援学校との交流教育・連携、御前中央学校との小中連携の取組、白根保育園との交流、地域交流活動の推進）</small> ＊ 家庭や地域との連携・協働 <small>（基本的な生活習慣づくりや家庭学習の充実における家庭との連携、学習ボランティアの活用、積極的関係構築、学校開放日の設定、学校情報の充実、地域の育成会活動への積極的参加）</small> ＊ 安全・安心な教育活動 <small>（発災時の防災・防犯等の訓練の実施、学校危機管理マニュアルの見直し、体験活動と安全指導、保護者・地域との連携）</small> ＊ 課題のある児童への対応 <small>（確かな生活習慣の実現化、特別支援教育の充実）</small></p>
---	---	---	---

家庭・地域から信頼される学校
 「地域に開かれた学校づくり 保護者・地域との連携」

143年の伝統
 「地域に根ざした学校づくり」

南アルプス市立白根源小学校「学校評価」計画

① 学校評価 法的根拠

平成30年度 南アルプス市立白根源小学校

学校評価

目的

学校教育法

第42条

小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。

第43条

小学校は、当該小学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとする。

学校教育法施行規則

第66条

小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

第67条

小学校は、前条第一項の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の当該小学校の関係者(当該小学校の職員を除く。)による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

第68条

小学校は、第六十六条第一項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

② 方向性

以上の法規に基づいて、学校評価は行われます。学校の自己点検、自己評価結果及びその改善策をなどについて整理して、教育活動を充実させ、学校運営を効果的に進めていくことが大事なポイントになります。学校長がふだんから述べているとおり、客観的なデータと事実に基づき、改善(keep & change)していくことが必要となります。

③ 年間計画

1学期 今年度は1学期に保護者アンケートは実施しません。(2学期のみです。)

1	5月2日	自己評価及び児童・保護者アンケート実施についての提案(朝礼)	
2	5月7日	自己評価の準備完了→共有フォルダにアップ(打込めます) 児童アンケート準備完了→各クラスに配付(6月25日)	一部内容項目を変更し、15項目に絞りました。 一部項目内容を変更しました。
3	6月28日	委嘱式(学校評議員・学校関係者評価委員)	
4	7月17日	自己評価 及び 児童アンケート 打込み完了	厳守
5	7月20日	学校関係者評価委員会開催通知発送	
6	7月31日	学校関係者評価委員会説明資料完成→校長提出(確認・修正)	
7	8月21日	学校関係者評価委員会説明資料職員説明→職員会議	
8	8月31日	学校関係者評価委員会実施(19:00)	
9	9月7日	学校関係者評価書 職員報告(終礼)	
10	9月10日	学校関係者評価委員へ配付 市教委提出	

2学期

1	11月12日	学校評価実施についての提案→職員会議	
2	11月13日	自己評価の準備完了→共有フォルダにアップ(打込めます) 児童アンケート準備完了→各クラスに配付(11月19日)	
3	11月19日	保護者アンケート配布(回収期間11/21-11/26→教頭提出)	一部項目内容を変更しました。 厳守

* 保護者アンケートは、紙面を配付し、担任が回収して、教頭へ提出してください。

4	12月10日	自己評価 及び 児童アンケート 打込み完了	厳守
5	12月21日	学校関係者評価委員会説明資料完成→校長提出(確認・修正)	

3学期

6	1月9日	学校関係者評価委員会説明資料職員説明→職員会議	
7	1月17日	学校関係者評価委員会実施(12:20)	
8	1月25日	学校関係者評価書職員報告(終礼)	
9	1月28日	学校関係者評価委員へ配付 市教委提出	
10	2月中旬	南アルプス市立白根源小学校H31ランドデザイン完成	
11	2月下旬	H31ランドデザイン職員報告 H31ランドデザイン市教委提出及び報告 H31ランドデザインホームページ掲載	

II 全体評価

① 後期 自己評価 全体評価

評価は、前期評価同様

Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない Dまったくあてはまらない とし職種によってあてはまらない場合もあるので Eあてはまらないを設けてある。

全体を見てみると、前期同様、集計結果からは、全ての項目に対して、肯定的な意見が大半を占めている。2学期以降もグランドデザインを意識して学校教育目標に近づけるように取り組むことができたのではないだろうか。

細かくデータを分析していくと、

1学期よりも向上した項目は、6項目です。

- 1「学校教育目標や指導重点を意識し、教育活動を進めている。」22.2%向上
- 4「他の職員と、相互理解・信頼関係を深め、教育活動にあたっている。」5.5%向上
- 8「教育公務員として危機管理（防災・防犯・個人情報・綱紀保持）を意識し、教育活動等にあたっている。」16.7%向上
- 11「家庭との連携を図り、児童の学習習慣が確立するよう配慮している。」66.7%向上
- 13「生指・特別支援体制を通じての組織的体制から、児童特性に応じた指導方法の工夫や改善に努めている。」50%向上
- 15「保護者・地域に対して誠実に関わり、保護者・地域及び関係機関との連携・協力体制の構築に努めている。」44.4%向上

グランドデザインが職員に意識化され、様々な教育場面で取組が行われている。学校行事や授業場面で職員が充実した取組を児童とともに進められたといえる。また、それらの教育活動が相互理解・信頼関係を保ちながら進められたことは大きな前進である。そのために、校務分掌の複数化などの取組をこれまで進めてきたが、相互に相談し、計画、実行できる土台が築かれつつあるといえる。

危機管理について意識が高まってきた。小さなことでも共有化、意識化、日常化の流れを考えて、周知活動を進めてきた。今後も続け、未然防止が当たり前前の学校にしていきたい。また、生指・特別支援教育体制が整備され、重要性が認められてきた。市教委、SC、SSWなどの関係機関と連携し、その取組を通じて子どもたちに良い方向の変化が見られた結果だと考えられる。すぐには効果はでないかもしれないが、その積み重ねによって変容することができてもらえただけでも、今後の教育に大きな期待が持てる。

保護者・地域との連携に関しての向上も、職員が寄り添い、相手の気持ちをよく聞き、対応できてきた結果ではないか。要求に対応することは難しい事ではあるが、寄り添うことで相互に解決の糸口を見つけ、それぞれにできることに取り組むことが、結果的には子どもの成長につながっていく。保護者アンケートにもこうした取組の評価が表れているだけに、一緒に育てていくスタンスを大事にして今後も取り組んでいきたい。

また、逆に1学期より低下した項目も、6項目です。

- 2「マネジメントサイクル（PDCA）で、常に改善を図ろうとしている。」27.8%低下
- 3「校務分掌に基づき、組織的に学校運営を進めることを心がけている。」11.1%低下
- 5「人事評価制度や各種研修を通し、常に自分を磨き、専門性を高めようとしている。」61.1%低下
- 6「教育公務員として危機管理（防災・防犯・個人情報・綱紀保持）を意識し、教育活動等にあたっている。」11.1%低下
- 7「チーム源として、職員が共通理解のもと、指導に努めている。」22.2%低下
- 9「基礎・基本の確実な定着に対して、きめの細かい指導をしている。」22.2%低下

大きな課題としては、新学習指導要領でめざしていく学校教育内容を明確にしていく必要性がいくつかの項目に見られる。カリキュラムマネジメント、マネジメントによる組織体制、教師の資質向上、チーム学校、社会に開かれた教育課程等が今後の学校教育の軸となり、これまでの学校教育の体制を改善しなければならない。一例として、「何を知っている、何ができる」といった知識伝達型の一斉指導からの脱皮が挙げられる。（10「関わりあって共に学び、高め合う」授業づくり）に努めている。も前期後期ともに50%の数値からもその悩みが表れている。）

南ア市で10年以上進められている「学びの質の向上」はその先取りであり、知識や技能を日常生活で使用できることや思考力・判断力・表現力等の資質能力が初めて体験する状況に出会ったとしても、これまで培ってきた力で切り開くことができる。また、他者の考え等で自分考えを見直し、さらに考えを深め広げて幅広い人間性を育てていくことで、自立への道を切り開いていかなければならない。（指示待ち人間からの脱出）そのために学校教育をチェンジする必要がある。

まだまだ完全には浸透していない状況が評価の中では、明確になっているが、校内研究会の中で多くの講師を招聘し、積極的に「学び合い」を追求してきたことは、今後の職員の指導に必ずつながっていく。実際に授業を観察すると、やまなしスタンダード:P34参照を意識した授業や地域の人材活用（ゲスト授業）、物的資源（地域資源）を活用し、幅広い体験学習を通して子どもたちに伝えようとしている。こうした積み重ねが子どもたちの学習意欲につながり、習得・活用・探求の学習プロセスの中で、学習や日常生活の中で課題を発見し、課題を解決していく姿勢へと変容させていくのではないだろうか。白根源小学校の「学び合い」による授業の形を整え、担任が自信を持って臨めるようにしていきたい。それが、きっと子どもたちの「わかる・楽しい授業」につながるに違いない。

「チーム学校」の背景には、保護者、地域との連携、さらに関係機関との連携がまず第一に思い浮かぶと思われる。市との連携（心理士による児童観察、コンサルテーション:P34参照、教育相談）でイメージはできているし、その連携の効果の大きさも理解しているといえる。また、SSWをはじめとした関係機関、医療機関との連携で教師の専門外による連携が如何に大事であり、子どもたちを支えてくれていることも感じていると思う。（生徒指導、特別支援教育体制については100%の結果が出ている）これから大事なのは、連携で任せてしまうのではなく、職員もそこから学び、その手法を日常の指導に生かしていくことである。

よって、教師の資質向上によって一人でも多くの子どもたちを支えていくことが大事である。目指していくべきところは、「学校中が教室」「全職員が担任」という意識を共有し、それが当たり前になることである。こうした姿勢は、日常生活の児童に対する共感的な指導につながる。子どもたちも様々な職員にSOSをしている光景が見られ、職員の対応も子どもに寄り添って、連携しながら指導にあたっており、学校中の雰囲気もよくなっている。こうした状況が安心感をもたらしていると感じる。関係機関の方々もその部分をよく評価してくれている。関係機関との連携から、子どもや保護者への対応、体制の在り方、役割分担の効果等を職員が学び、日々の指導に生かしていきたい。子どもとの関係性がよくなることで、学力向上への第1歩になるだけに、これからも努力を子どもたちのために続けてほしいと願っている。

■ 参考資料

* 前期 自己評価 全体評価

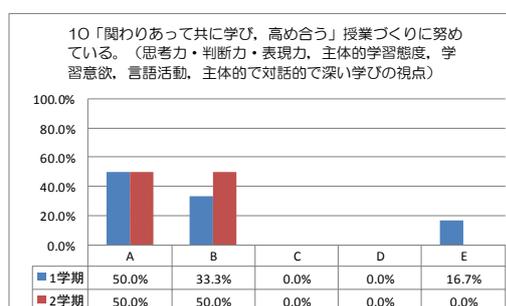
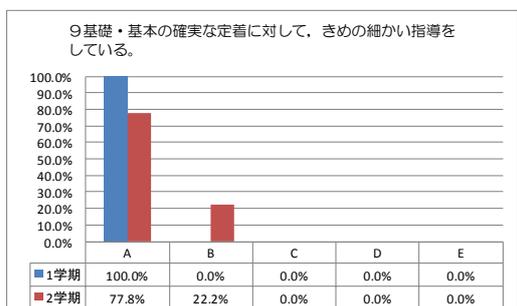
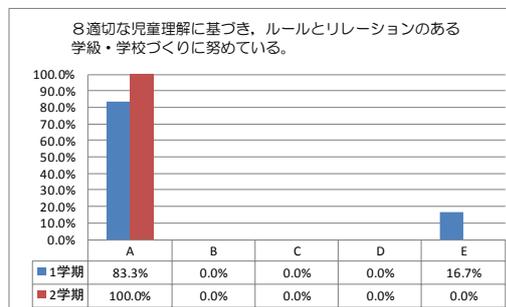
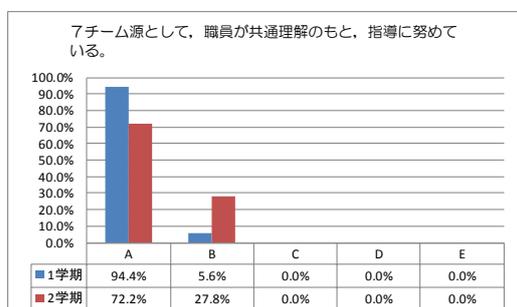
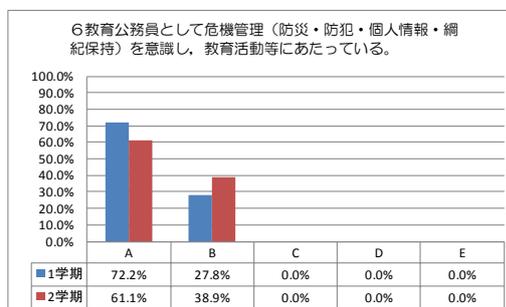
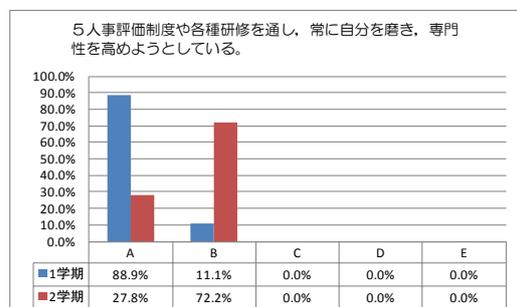
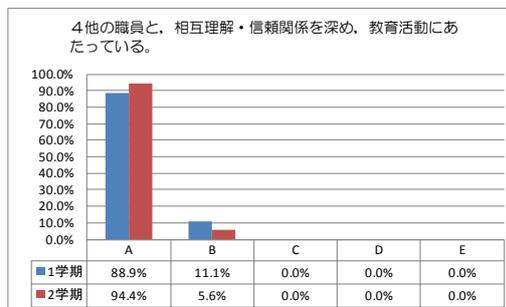
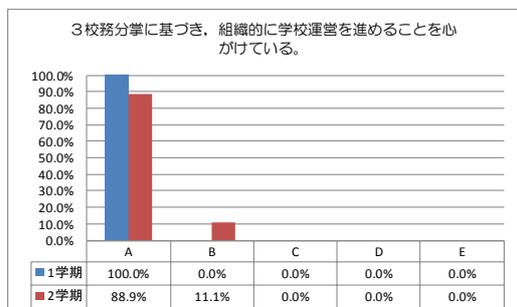
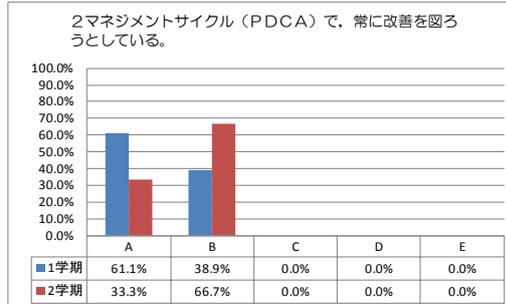
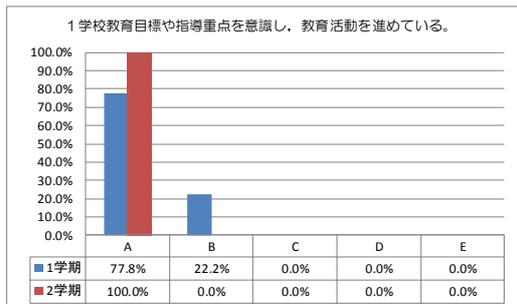
<p>・全体分析</p>	<p>今年度も昨年度同様、評価項目を見直し、同様な内容を削除または構成し直し、昨年度までの37項目から15項目とした。再度改善を施し、PC上から打込み、自動的に数値化及びグラフ化できるようにしたことで職員も短時間で評価できるように改善を施した。評価する側も、評価を分析する側も短時間で能率的に取り組めるように考え、取り組んだ。昨年度同様、自己評価や職員会議等での職員の意見を参考にして、PDCAを確実に実践に結び付けられるシステムを今後も検討していきたい。</p> <p>評価は、 Aよくあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない Dまったくあてはまらない とし職種によってあてはまらない場合もあるので Eあてはまらないを設けてある。</p> <p>集計結果からは、全ての項目に対して、肯定的な意見が大半を占めた。学校長が描いているグランドデザインが職員に浸透していることを意味しているのではないだろうか。2学期以降もグランドデザインを意識して学校教育目標に近づけるように取り組んでいきたい。</p> <p>職員の取組姿勢は様々な場面において協力的であり、それが全校児童に伝わり、5分前行動、無言清掃等の姿に表れている。縦割りにおける活動も全学年がお互いに顔と名前を知って仲よく活動している。組織が、目標に向けて、協力的に取り組まれている様子がよくわかる。職員も児童も力を合わせて、目標に向けて取り組んでいることは素晴らしいの一言に尽きる。</p>
<p>経営 学校 方針 教育 ・目 学標 校 運 営</p>	<p>1-7 全て肯定的な意見で占められている。特にNo.3「校務分掌に基づき、組織的に学校運営を進めることを心がけている。」については、全職員がA評価であった。しっかり意識をもって1学期は取り組めていたといえる。</p> <p>B評価は、No.2「マネジメントサイクル（PDCA）で、常に改善を図ろうとしている。」No.6「教育公務員として危機管理（防災・防犯・個人情報・綱紀保持）を意識し、教育活動等に当たっている。」について目立っている。学校全体としては、改善を図ったり、最新情報を提供したりして共通確認を進めているが、職員自身が取組策を考え、実践に結びつけるという面において、十分に取組を果たしているという自信が持てないのではないかと推測される。</p> <p>全職員がチーム源で協力的に取り組んでいる姿は、No.7「チーム源として、職員が共通理解のもと、指導に努めている。」No.4「他の職員と、相互理解・信頼関係を深め、教育活動にあたっている。」の評価に如実に表れている。うれしいことである。</p>
<p>学 習 指 導</p>	<p>8-11 全て肯定的な意見で占められている。</p> <p>しかし、No.11「家庭との連携を図り、児童の学習習慣が確立するよう配慮している。」において、B評価が12となっている。（約70%がB評価となっている。）昨年度より自主学習に取り組む児童は増えてきている。しかし、家庭での理解や取組については、教師が家庭との連携という面でまだ課題があるからだと考えられる。</p> <p>全体的には、一人ひとりわかる授業実現に対して目標を持って努力していることがわかる結果が出ています。実際に自己観察書における目標に向けて取り組んでいる様子が見られている。また、個別指導やTTも丁寧に行われおり、日常きめ細かな指導が実践されている。No.8「適切な児童理解に基づき、ルールとリレーションのある学級・学校づくりに努めている。」No.9「基礎・基本の確実な定着に対して、きめの細かい指導をしている。」で全職員がA評価であることから明らかである。</p>
<p>児 童 理 解 ・ 生 徒 指 導</p>	<p>12-14 全て肯定的な意見で占められている。</p> <p>しかし、No.13「生指・特別支援体制を通じての組織的体制から、児童特性に応じた指導方法の工夫や改善に努めている。」でB評価が50%を占めている。昨年度より個別のケース会議を増やし、他機関の連携も増やしているが、実際に児童の変化が取組後すぐに見られるわけではないので、不安や悩みが生じているのではないだろうか。特別支援教育や生徒指導については、観察-分析-取組の繰り返しが必要であり、中には連携機関とのつながりで分析-取組を進めなくてはならないので、すぐに「この方法があてはまる」という処方箋的な方法はないので、今後もケース会議の中で検討し取組を考えていきたい。</p> <p>白根源小学校の良い部分として、全校児童の力で基本的な生活習慣性を身に付けていくことが挙げられる。無言清掃、縦割り活動を通して高学年から低学年へいい形が繋がっている。規範意識を持った風土が形成され、いじめ、不登校の未然防止につながっているといえる。</p>
<p>保 護 者 ・ 地 域 連 携</p>	<p>15 全て肯定的な意見で占められている。</p> <p>No.15「保護者・地域に対して誠実に関わり、保護者・地域及び関係機関との連携・協力体制の構築に努めている。」にB評価が約40%占めている。昨年度もそうであったが、保護者や地域がかなり様々な場面で協力的であるにもかかわらず、B評価が多いということは、意識して保護者や地域にアプローチしていないことを意味しているのかもしれない。特別に仕組んでいるわけではないために職員一人ひとりの意識が強くないのかもしれない。しかし、職員個人で全て連携しているわけではなく、学校全体としてそれぞれが役割も持って連携していることをわかってほしい。</p> <p>今年は、農業体験や環境整備、防災等で新たな連携を仕組み、拡大しているだけに、ボランティアも含めた活動を見直し、積極的な活動に結び付けていきたい。どんなつながりを持てるのかも職員に説明し、チーム学校の意識を高めさせていきたい。</p>

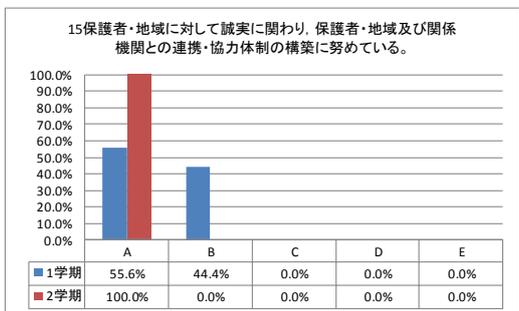
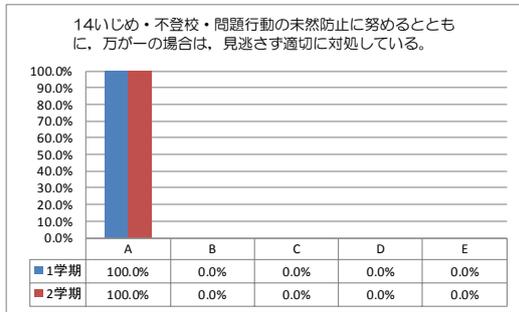
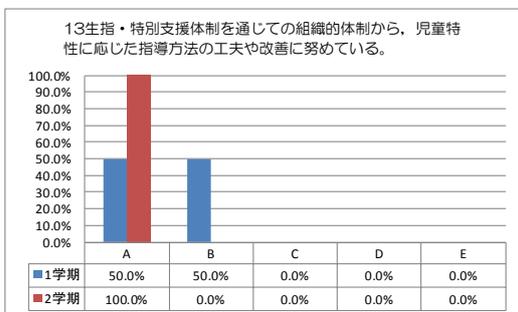
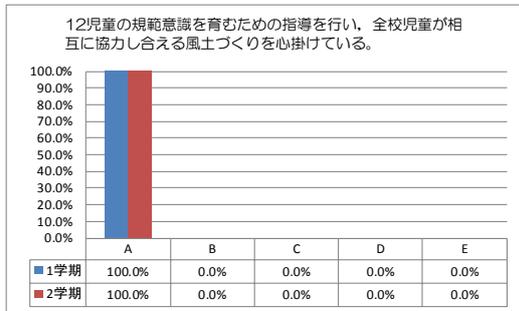
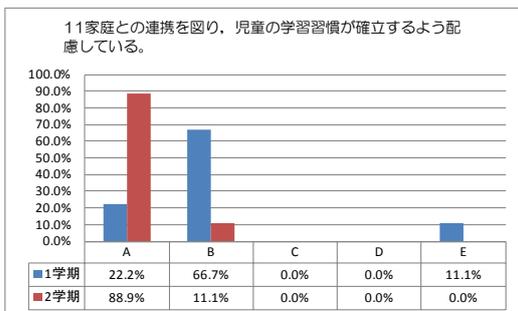
② 自己評価 前期・後期集計結果 意見及び改善策コメント

評価項目	集計					
		A	B	C	D	E
1 学校教育目標や指導重点を意識し、教育活動を進めている。	1学期	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 マネジメントサイクル(PDCA)で、常に改善を図ろうとしている。	1学期	61.1%	38.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
3 校務分掌に基づき、組織的に学校運営を進めることを心がけている。	1学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
4 他の職員と、相互理解・信頼関係を深め、教育活動にあたっている。	1学期	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
5 人事評価制度や各種研修を通し、常に自分を磨き、専門性を高めようとしている。	1学期	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	27.8%	72.2%	0.0%	0.0%	0.0%
6 教育公務員として危機管理(防災・防犯・個人情報・綱紀保持)を意識し、教育活動等にあたっている。	1学期	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	61.1%	38.9%	0.0%	0.0%	0.0%
7 チーム源として、職員が共通理解のもと、指導に努めている。	1学期	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	72.2%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%
8 適切な児童理解に基づき、ルールとリレーションのある学級・学校づくりに努めている。	1学期	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	2学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9 基礎・基本の確実な定着に対して、きめの細かい指導をしている。	1学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
10 「関わりあって共に学び、高め合う」授業づくりに努めている。(思考力・判断力・表現力、主体的学習態度、学習意欲、言語活動、主体的に対話的で深い学びの視点)	1学期	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%
	2学期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11 家庭との連携を図り、児童の学習習慣が確立するよう配慮している。	1学期	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	11.1%
	2学期	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
12 児童の規範意識を育むための指導を行い、全校児童が相互に協力し合える風土づくりを心掛けている。	1学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13 生指・特別支援体制を通じた組織的体制から、児童特性に応じた指導方法の工夫や改善に努めている。	1学期	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14 いじめ・不登校・問題行動の未然防止に努めるとともに、万が一の場合は、見逃さず適切に対処している。	1学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15 保護者・地域に対して誠実に関わり、保護者・地域及び関係機関との連携・協力体制の構築に努めている。	1学期	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	2学期	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

項目	番号	評価項目
経営方針・学校運営	1	学校教育目標や指導重点を意識し、教育活動を進めている。
	2	マネジメントサイクル(PDCA)で、常に改善を図ろうとしている。
	3	校務分掌に基づき、組織的に学校運営を進めることを心がけている。
	4	他の職員と、相互理解・信頼関係を深め、教育活動にあたっている。
	5	人事評価制度や各種研修を通し、常に自分を磨き、専門性を高めようとしている。
	6	教育公務員として危機管理(防災・防犯・個人情報・綱紀保持)を意識し、教育活動等にあたっている。
	7	チーム源として、職員が共通理解のもと、指導に努めている。
学習指導	8	適切な児童理解に基づき、ルールとリレーションのある学級・学校づくりに努めている。
	9	基礎・基本の確実な定着に対して、きめの細かい指導をしている。
	10	「関わりあって共に学び、高め合う」授業づくりに努めている。(思考力・判断力・表現力、主体的学習態度、学習意欲、言語活動、主体的に対話的で深い学びの視点)
生徒指導	11	家庭との連携を図り、児童の学習習慣が確立するよう配慮している。
	12	児童の規範意識を育むための指導を行い、全校児童が相互に協力し合える風土づくりを心掛けている。
	13	生指・特別支援体制を通じた組織的体制から、児童特性に応じた指導方法の工夫や改善に努めている。
	14	いじめ・不登校・問題行動の未然防止に努めるとともに、万が一の場合は、見逃さず適切に対処している。
連携者地域との	15	保護者・地域に対して誠実に関わり、保護者・地域及び関係機関との連携・協力体制の構築に努めている。

③ 自己評価 前期・後期比較集計結果（グラフ化）





Ⅲ 児童アンケート結果

① 後期児童アンケート 全体評価

1学期同様、18項目中全てが肯定的な意見であった。
そのうち前期よりも肯定的で数値が上がったのが 1番、8番、9番、10番、11番、12番の6項目であった。
前期より改善した項目は

1「学校が 楽しいですか。」 前期(9.7%)→後期(8.8%)であった。

しかしながら、依然10名ほどの子どもが否定的である現状に対して、調査等を活用しながら、個別に原因を探りながら対応したい。また、2番「学校の授業がわかりますか」についても2-3名がC評価であるので、個別に、丁寧に、きめ細やかな学習を進め、状況に応じては補助体制も視野にいれて対応していきたい。

逆に、C評価+D評価が10%以上を課題として挙げてみると、

- 3「授業中に 質問や 意見を いいますか。」36.9%
- 4「学校の 決まりや 約束が 守れていますか。」11.4%
- 5「家で 家庭学習（自主学習・宿題）をしていますか。」14.9%
- 7「学校では ほかの学年のお友だちと 遊ぶことがありますか。」23.7%
- 8「こまった時に 話のできる友だちが いますか。」13.2%
- 14「地域の人と 出会ったら あいさつをしていますか。」10.5%
- 16「家の人と 学校でのことを 話していますか。」19.3%
- 17「家の人と さいがい（地震・台風・火事など）が起こったときのことを話していますか。」39.5% 以上8項目が該当した。

「3番、7番、8番、14番、16番、17番」の6項目については、年間通して課題のある項目であることが分かる。

肯定的な意見（A+B）が、1学期より下がった項目は11項目あった。

- 3「授業中に 質問や 意見を いいますか。」
- 4「学校の 決まりや 約束が 守れていますか。」
- 5「家で 家庭学習（自主学習・宿題）をしていますか。」
- 6「クラスに なかよく遊ぶ 友だちが いますか。」
- 7「学校では ほかの学年のお友だちと 遊ぶことがありますか。」
- 13「家の人と あいさつをしていますか。」
- 14「地域の人と 出会ったら あいさつをしていますか。」
- 15「朝ごはんを 食べて 学校に きますか。」
- 16「家の人と 学校でのことを 話していますか。」
- 17「家の人と さいがい（地震・台風・火事など）が起こったときのことを話していますか。」
- 18「わかばのお友だちと 仲良く遊ぶことができましたか。」以上の項目である。

そのうち5%以上、下がったものは、6項目あり、

「3番（10%）、4番（5%）、5番（8%）、7番（6%）、16番（6%）、17番（11%）」であった。

3番「授業中に質問や意見を言います」では、本校児童の課題である消極的な傾向が見られている。

また、17番「家の人と さいがい（地震・台風・火事など）が起こったときのことを話していますか。」では、1学期には源防災の日が設定されていただけに、意図的な取組がないとやはり意識が低下してしまうようだ。今回の結果では、規範意識、家庭学習、友だちとの対人関係で数値が低下してしまったのは残念である。

Q-U検査や学級検査等でしっかり分析し、児童の気持ちを寄り添う教師側の姿勢がより一層大切になってくると思う。また、校内研究・生徒指導・特別支援教育体制で児童理解への取組、一人ひとりの言語活動、全校における言語活動など表現力等の育成を図る必要がある。課題を明確にして、3学期の取組を充実させ、新学期にいいスタートができるようにクラスの雰囲気、学校全体の風土づくりに力を入れていきたい。

参考資料 ＊前期児童アンケート全体評価

18項目中ほとんどが肯定的な意見であった。（A評価+B評価）職員の自己評価分析同様、授業や生活場面で頑張っている様子が伺える。また、家庭での生活も安定しているといえる。「学校が楽しいか」「授業が分かるか」についても90%以上の肯定的な意見が児童にも意識されている。教師も指導については意識して工夫して授業しているだけに、子どもたちにわかる授業が浸透していると考えられる。こうした居場所と出番のある学校生活が子どもたちに意識されていることは本当にうれしい結果であるといえる。

C評価+D評価が10%以上を課題として挙げてみると、

- 1「学校が 楽しいですか。」9.7%
 - 3「授業中に 質問や 意見を いいますか。」27.4%
 - 7「学校では ほかの学年のお友だちと 遊ぶことがありますか。」17.7%
 - 8「こまったときに 話のできる友だちが いますか。」14.2%
 - 14「地域の人と 出会ったら あいさつをしていますか。」9.7%
 - 16「家の人と 学校でのことを 話していますか。」13.3%
 - 17「家の人と さいがい（地震・台風・火事など）が起こったときのことを話していますか。」28.3%の項目で見られる。
- 昨年度と比較すると(児童も違うので一概には言えないが)

- 7「学校では ほかの学年のお友だちと 遊ぶことがありますか。」
 - 16「家の人と 学校でのことを 話していますか。」
 - 17「家の人と さいがい（地震・台風・火事など）が起こったときのことを話していますか。」で改善が見られる。
- 特に防災については、危機管理室との連携で改善が見られ始めている。(45.5%→28.3%)

逆に、%ダウンした項目については、2学期の取組やQ-U(楽しい学校生活を送るためのアンケート)分析と合わせて改善を試みていきたいと考えている。

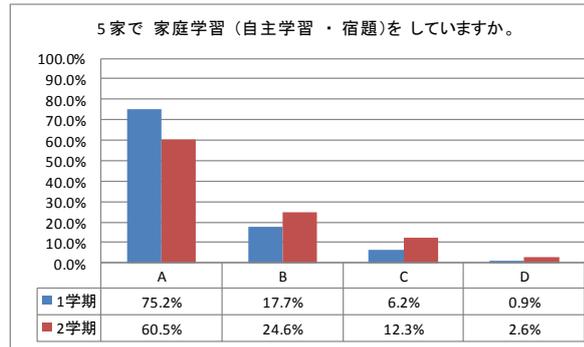
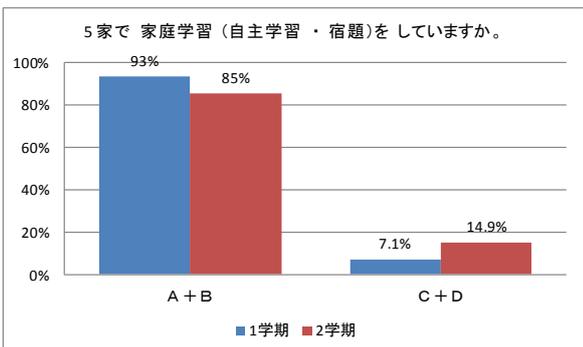
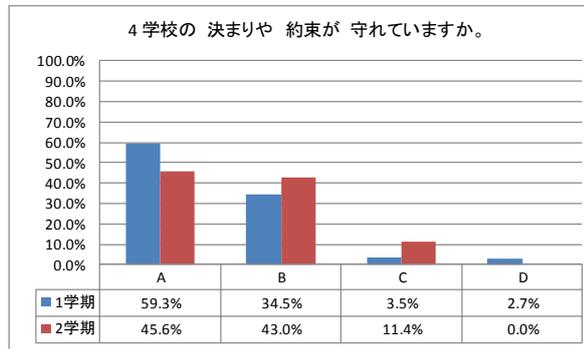
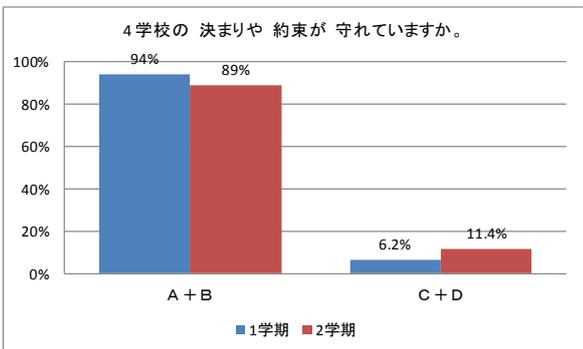
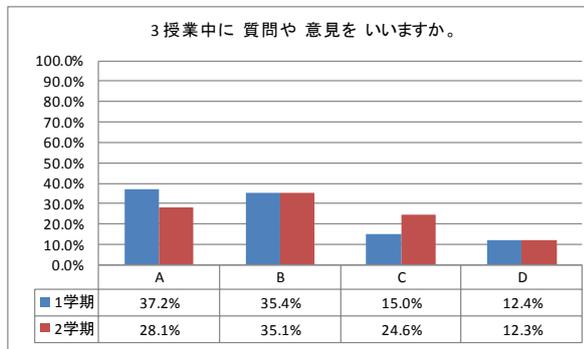
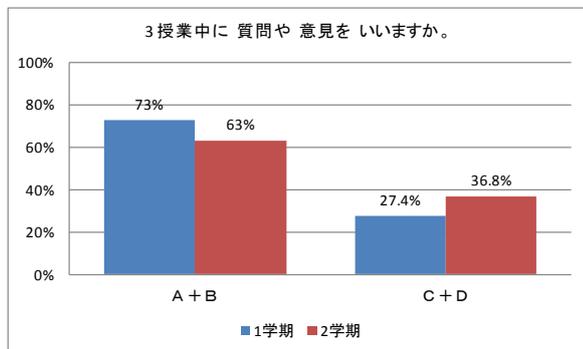
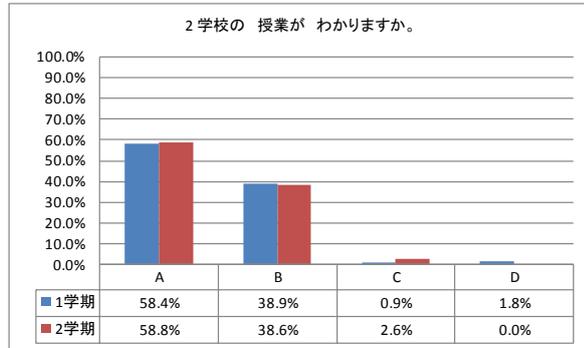
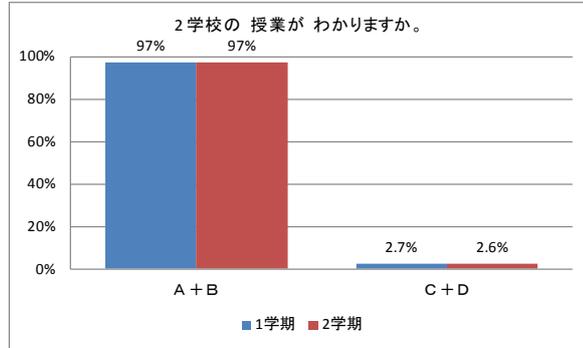
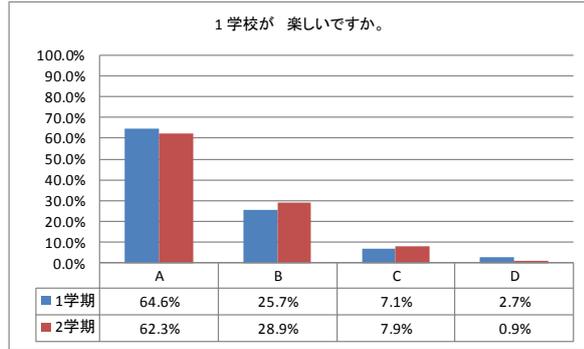
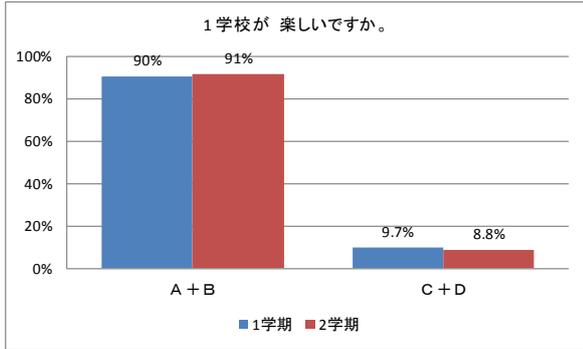
No.1「学校が 楽しいですか。」に対しては、Q-U分析や学級力アンケート結果分析から、必要に応じて個別対応していきたい。No.3「授業中に 質問や 意見を いいますか。」については、地域の人へのあいさつや学校生活における機会における対人関係を重視していくことで人前での発言に自信を持たせていくことも大切であり、こうした場面での工夫した指導をそれぞれ考え取り組んでほしい。

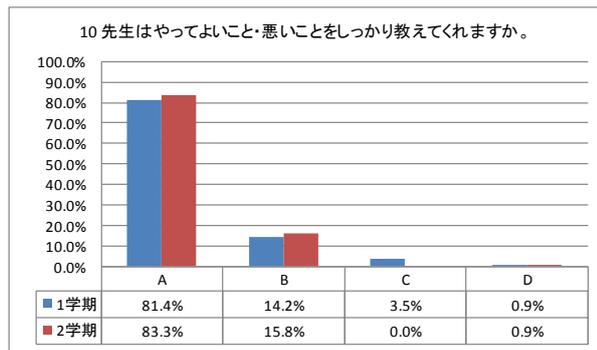
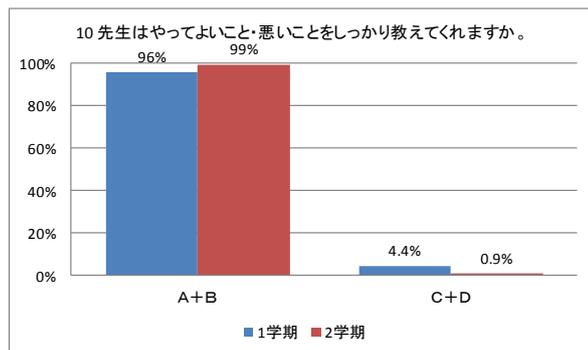
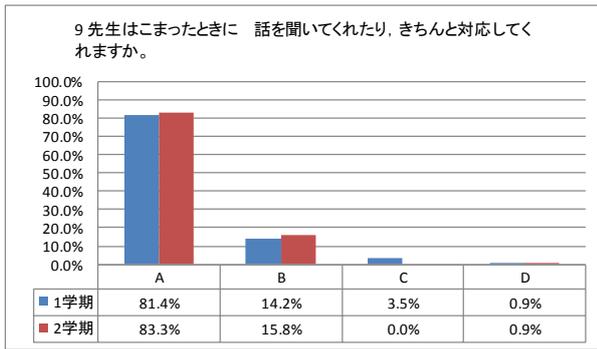
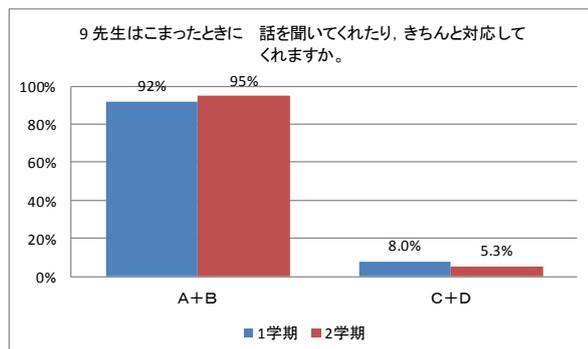
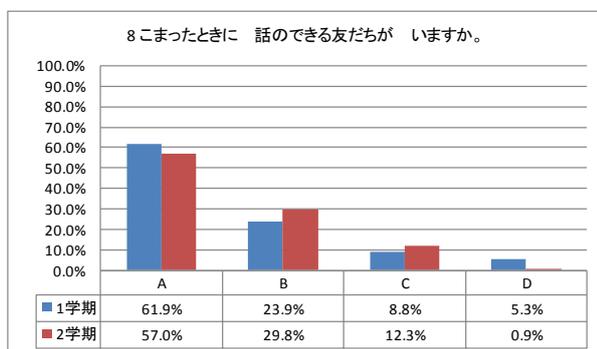
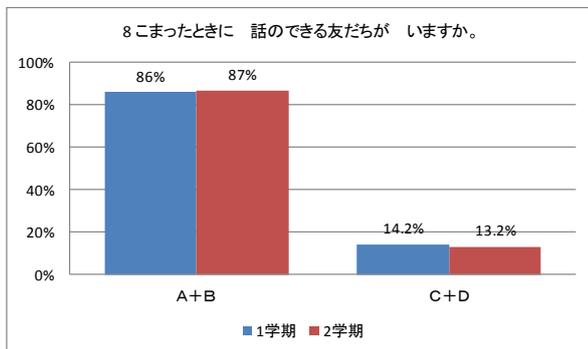
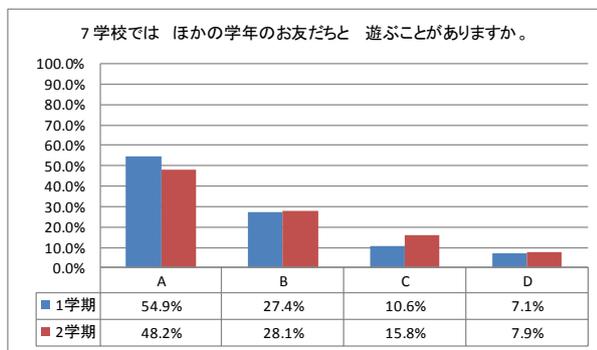
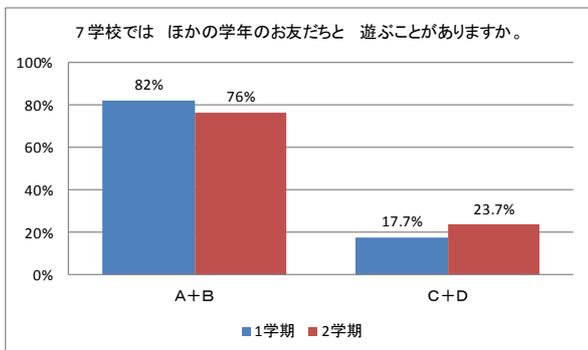
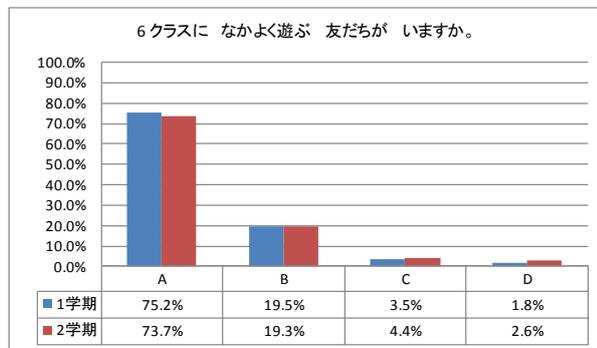
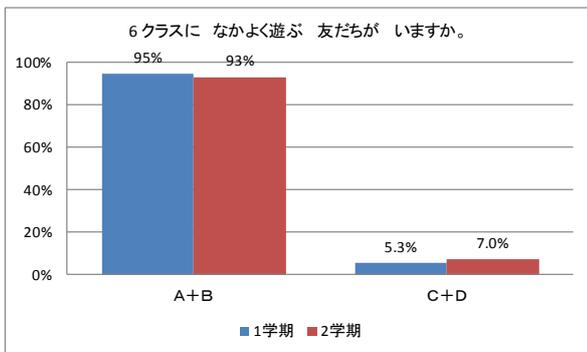
② 児童アンケート集計結果

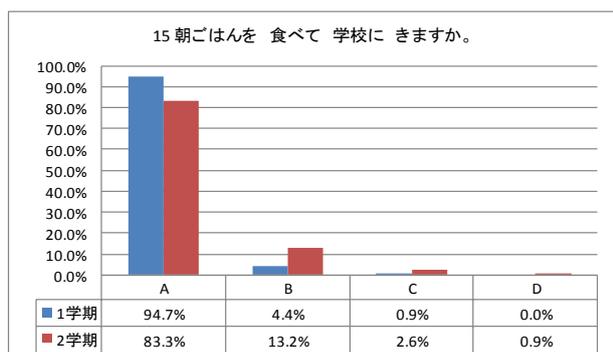
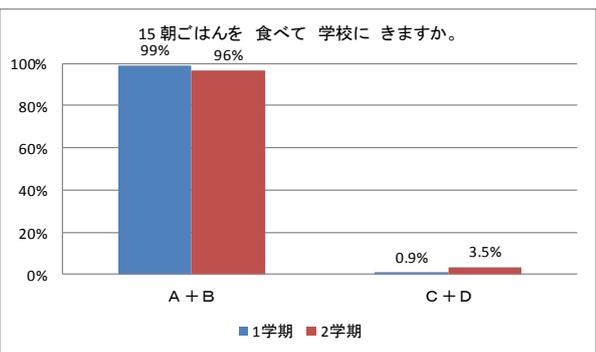
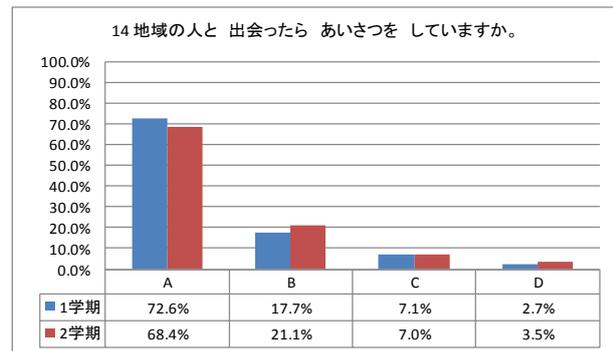
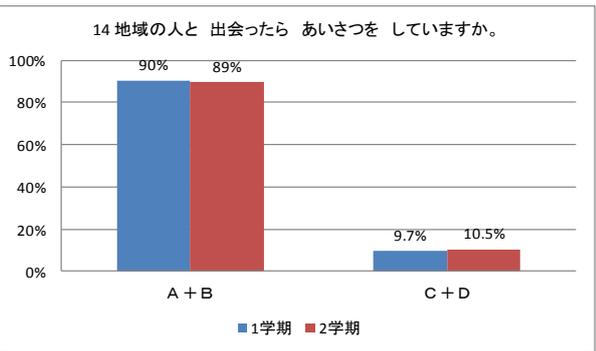
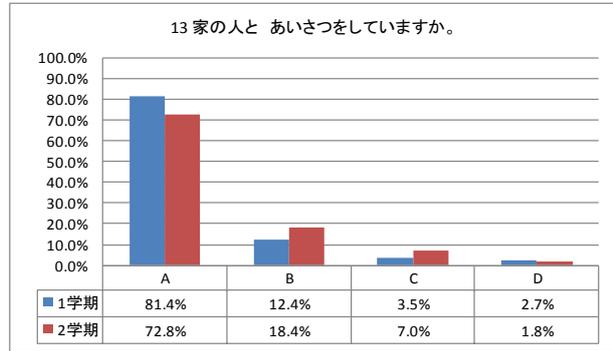
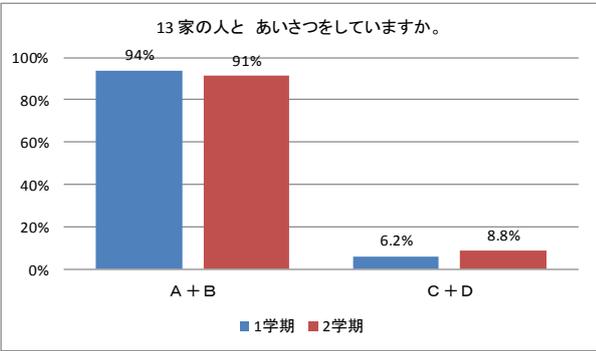
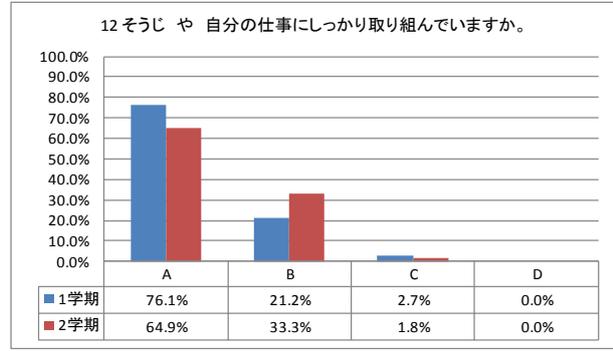
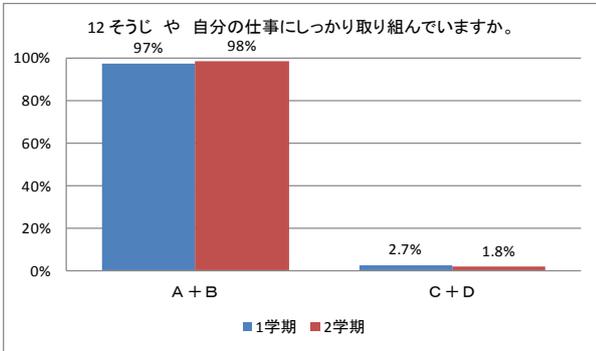
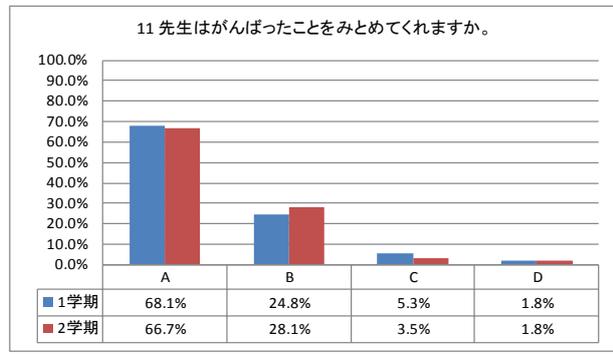
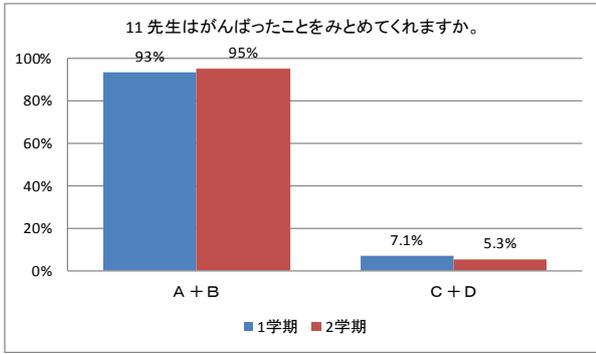
■ 後期児童アンケート結果

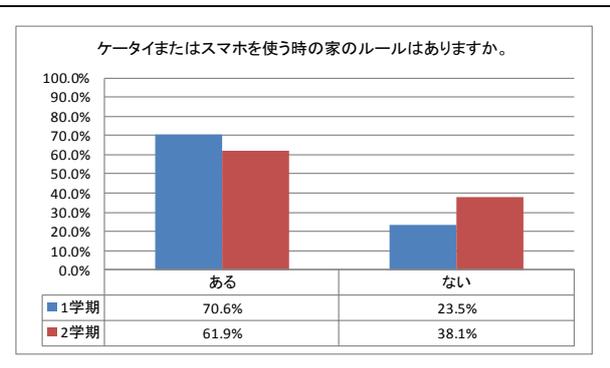
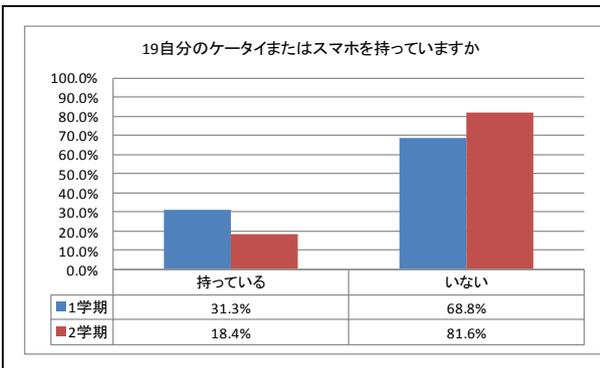
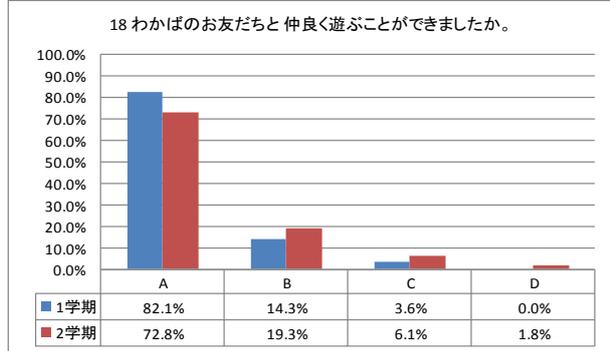
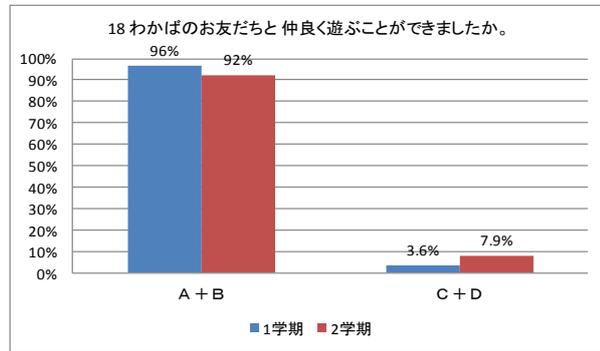
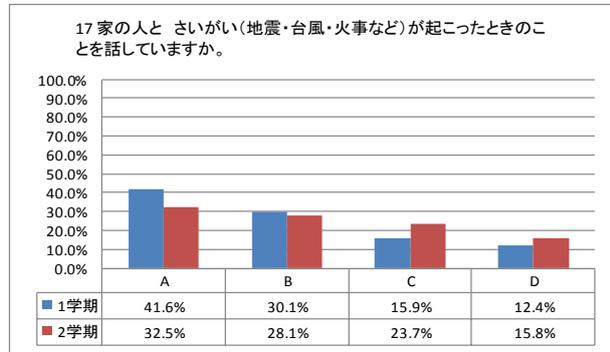
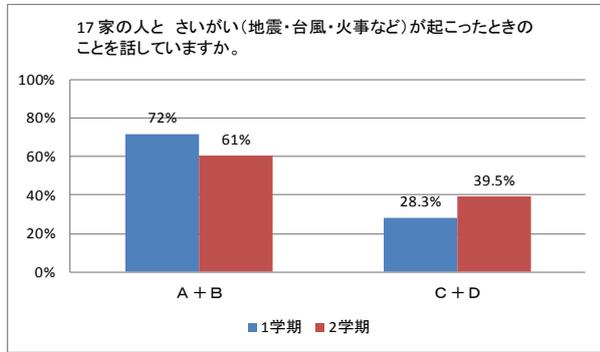
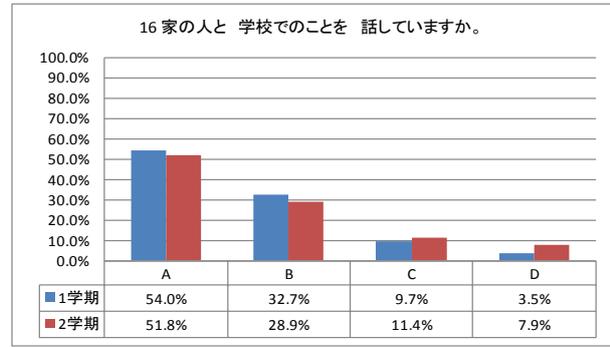
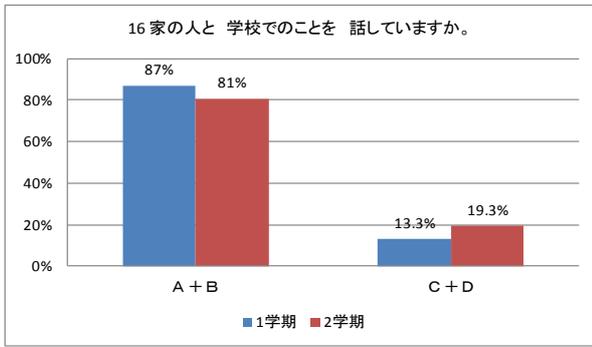
No.	児童アンケート 評価項目	全校			
		A	B	C	D
1	学校が 楽しいですか。	62.3%	28.9%	7.9%	0.9%
2	学校の 授業が わかりますか。	58.8%	38.6%	2.6%	0.0%
3	授業中に 質問や 意見を いいますか。	28.1%	35.1%	24.6%	12.3%
4	学校の 決まりや 約束が 守れていますか。	45.6%	43.0%	11.4%	0.0%
5	家で 家庭学習（自主学習・宿題）をしていますか。	60.5%	24.6%	12.3%	2.6%
6	クラスに なかよく遊ぶ 友だちが いますか。	73.7%	19.3%	4.4%	2.6%
7	学校では ほかの学年のお友だちと 遊ぶことがありますか。	48.2%	28.1%	15.8%	7.9%
8	こまったときに 話のできる友だちが いますか。	57.0%	29.8%	12.3%	0.9%
9	先生はこまったときに 話を聞いてくれたり、きちんと対応してくれますか。	74.6%	20.2%	4.4%	0.9%
10	先生はやってよいこと・悪いことをしっかり教えてくれますか。	83.3%	15.8%	0.0%	0.9%
11	先生はがんばったことをみとめてくれますか。	66.7%	28.1%	3.5%	1.8%
12	そうじ や 自分の仕事にしっかり取り組んでいますか。	64.9%	33.3%	1.8%	0.0%
13	家の人と あいさつをしていますか。	72.8%	18.4%	7.0%	1.8%
14	地域の人と 出会ったら あいさつをしていますか。	68.4%	21.1%	7.0%	3.5%
15	朝ごはんを 食べて 学校に きますか。	83.3%	13.2%	2.6%	0.9%
16	家の人と 学校でのことを 話していますか。	51.8%	28.9%	11.4%	7.9%
17	家の人と さいがい(地震・台風・火事など)が起こったときのことを話していますか。	32.5%	28.1%	23.7%	15.8%
18	わかばのお友だちと 仲良く遊ぶことができましたか。	72.8%	19.3%	6.1%	1.8%
19	(あてはまるほうに○印をつけてください。)自分のケータイまたはスマホを持っていますか	18.4%	ない	81.6%	
*	(持っている人だけ、あてはまるほうに○印をつけてください)ケータイまたはスマホを使う時の家のルールはありますか。	61.9%		38.1%	

③ 児童アンケート集計 前期・後期比較結果（グラフ化）









ケータイ・スマホ所持状況

全人数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
21	4	3	1	1	10	2

ケータイ・スマホ家庭内ルール状況

全人数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
13	3	1	1	1	5	2

IV 保護者アンケート結果

① 保護者アンケート全体評価

保護者アンケート結果からはほぼ肯定的な結果が得られた。13番(84.5%)と16番(77.3%)を除き全て85%以上の肯定的な意見で占められている。

肯定的ではない(C+D)意見において10%以上を占める項目を挙げてみると、

- 8「子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。」11.8%
- 9「子どもは、学習が分かっているように感じる。」11.8%
- 11「子どもは、学校の様子をよく話してくれている。」14.5%
- 12「子どもは、家庭学習(自主学習、宿題等)によく取り組んでいる。」11.8%
- 13「子どもは、家でも地域でもよくあいさつをしている。」15.5%
- 16「家庭学習(自主学習・宿題)の取組に、関わっている。」22.7%
- 18「ゲームをする時間、テレビを見る時間、外出時などにルールを決めて取り組んでいる。」12.7%
- 20「子どもの様子の変化に注意を払い、すぐに先生に相談している。」18.2% 以上の7項目が該当する。

特に

- 11「子どもは、学校の様子をよく話してくれている。」
- 12「子どもは、家庭学習(自主学習、宿題等)によく取り組んでいる。」
- 13「子どもは、家でも地域でもよくあいさつをしている。」

については、児童アンケートでも1学期より下がった項目と一致している。

「家庭学習」については児童は8%、「家の人と学校のことを話している」は6%落ち込んでいる。

家庭学習においては、まず復習を確実にし、基礎的な部分を押さえていくことが必要である。定着している自主学習をさらに確実に進め、予習や調べ学習などに発展的につながる工夫もしていきたい。大事なことは学習に向かう姿勢であり、自ら学んでみようとする力を身につけさせていきたい。

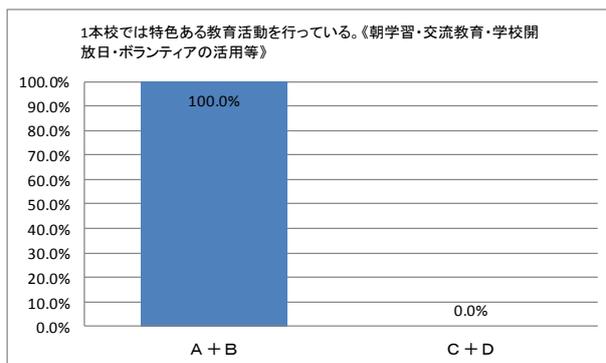
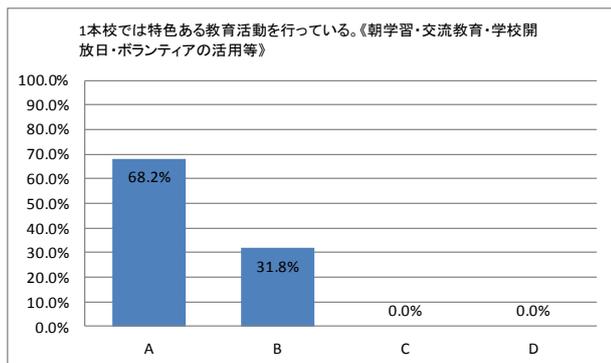
また、あいさつでは地域のあいさつ運動の取組もありながら確かな手応えがない。自信を持って他者に伝える意志が必要だろう。そのために学校においては表現力の育成、家庭では基本的な生活習慣が必要になるのではないかと。家庭での生活状況が多様化しているだけに、家庭-地域-学校の連携を具体性を持って臨まなければならないだろう。家庭を含めて、他者との関わりが希薄化されつつあるだけに、ソーシャルスキルを意図的に子どもたちに指導することともに保護者にもその必要性を伝えていかなければならないだろう。

さらに、気になるのは「学校に行くのを楽しみにしている」の項目である。児童アンケートでは、改善しつつあるものの、まだまだ家庭で流る傾向は存在しているのではないだろうか。(10名程度)であれば、自己肯定感の向上、自立する力を育てていかなければならない。こうした部分も家庭との共有・連携の中で絶えず情報交換しながら育てていく必要がある。

② 保護者アンケート集計結果

保護者アンケート		%			
対象:110家庭		A	B	C	D
1	本校では特色ある教育活動を行っている。(朝学習・交流教育・学校開放日・ボランティアの活用等)	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%
2	学校は、学校開放日や授業参観等で、子どもの様子を見る機会を設けている。	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%
3	「学校だより・学年だより・図書だより・保健だより等」で学校の様子がよくわかる。	76.4%	22.7%	0.9%	0.0%
4	先生たちは、わかる授業、楽しい授業に積極的に取り組んでくれている。	68.8%	28.4%	1.8%	0.9%
5	先生たちは、子どもの話をよく聞き、理解してくれている。	61.8%	33.6%	3.6%	0.9%
6	先生たちは保護者からの相談や要望によく対応してくれている。	67.3%	25.5%	5.5%	1.8%
7	本校は、教育活動に適した施設・設備が整っている。	53.6%	44.5%	1.8%	0.0%
8	子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	61.8%	26.4%	11.8%	0.0%
9	子どもは、学習が分かっているように感じる。	40.9%	47.3%	10.0%	1.8%
10	子どもは、学校で友だちと楽しく過ごしていると感じる。	55.5%	35.5%	9.1%	0.0%
11	子どもは、学校の様子をよく話してくれている。	45.5%	40.0%	12.7%	1.8%
12	子どもは、家庭学習(自主学習、宿題等)によく取り組んでいる。	38.2%	50.0%	11.8%	0.0%
13	子どもは、家でも地域でもよくあいさつをしている。	40.9%	43.6%	15.5%	0.0%
14	学校開放日や授業参観、学校行事に積極的に参加している	39.4%	54.1%	6.4%	0.0%
15	学校だより、学年だより、保健だより、図書だより等をよく読んでいる。	42.7%	53.6%	3.6%	0.0%
16	家庭学習(自主学習・宿題)の取組みに、関わっている。	34.5%	42.7%	22.7%	0.0%
17	基本的な生活習慣(早寝、早起き・朝ごはん等)やしつけに注意を払って取り組んでいる。	47.3%	48.2%	4.5%	0.0%
18	ゲームをする時間、テレビを見る時間、外出時などにルールを決めて取り組んでいる。	32.7%	54.5%	10.9%	1.8%
19	子どもに、学校の様子などよく質問している。	41.8%	56.4%	1.8%	0.0%
20	子どもの様子の変化に注意を払い、すぐに先生に相談している。	22.7%	59.1%	14.5%	3.6%
21	わかば支援学校交流や保育所交流を通して思いやりの心を育てていく方針を理解している。	66.4%	31.8%	0.9%	0.9%
21	あなたのお子さんはケータイまたはスマホを持っていますか。(どちらかに○印をつけてください。)		11.8%		87.3%
水	★持っているとお答えした人だけに聞きます！ケータイまたはスマホを使う時の家のルールがある。(どちらかに○印をつけてください。)	ある	10.9%	ない	7.3%

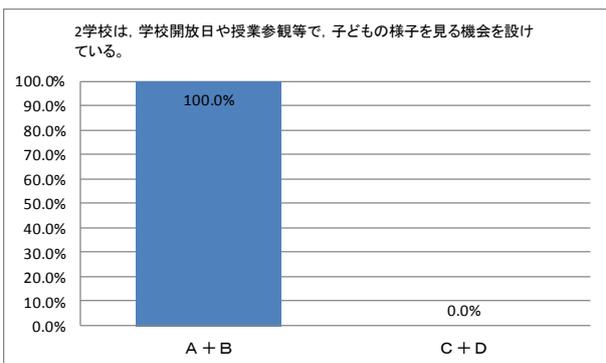
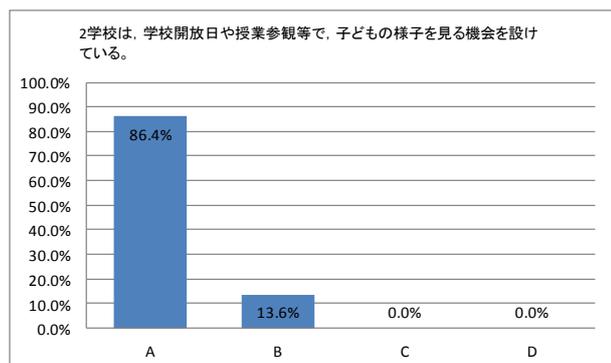
③ 保護者アンケート集計結果(グラフ化)



1

・本校では特色ある教育活動を行っている。《朝学習・交流教育・学校開放日・ボランティアの活用等》

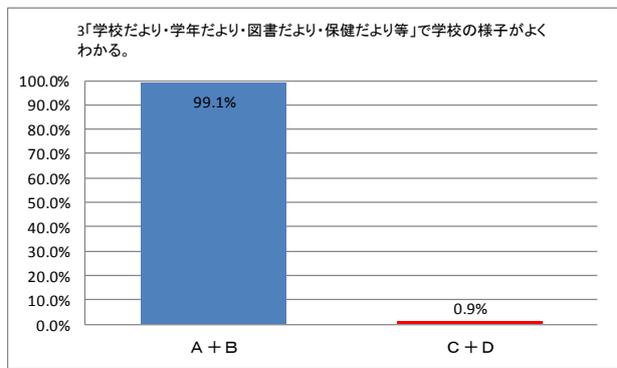
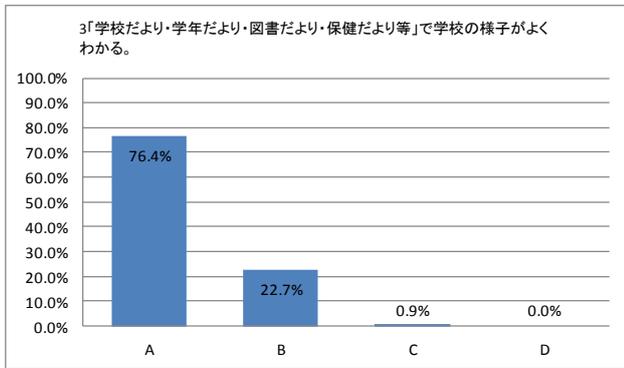
- ・親子読書など読書を進める活動に特色を感じます。
- ・音楽集会などとても楽しみにしているようです。どの学年も歌が上手で感心しています。
- ・特にわかば交流は、これから続けていってほしいです。子どもたちにはいろんな体験をしてほしいです。
- ・他の学校についてよく知らないで、何とも言えないところもある。
- ・朝学習とボランティアは知りませんでした。



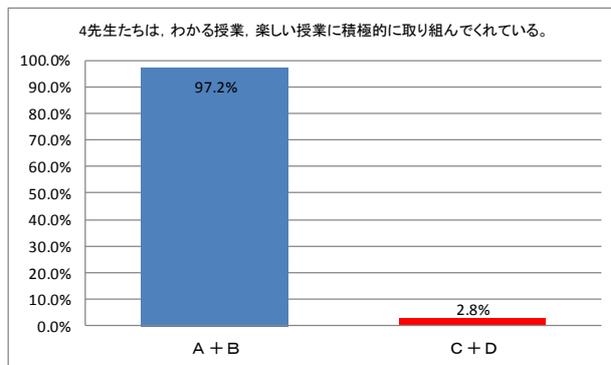
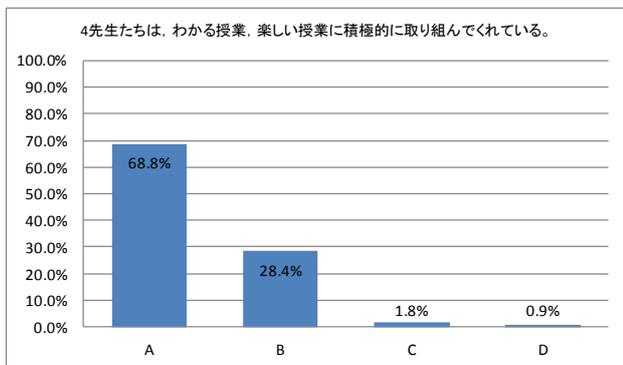
2

・学校は、学校開放日や授業参観等で、子どもの様子を見る機会を設けている。

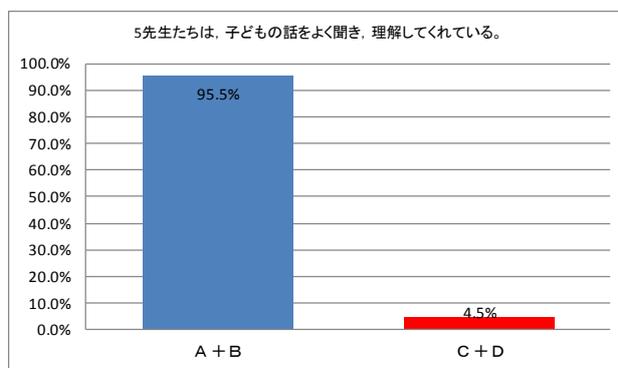
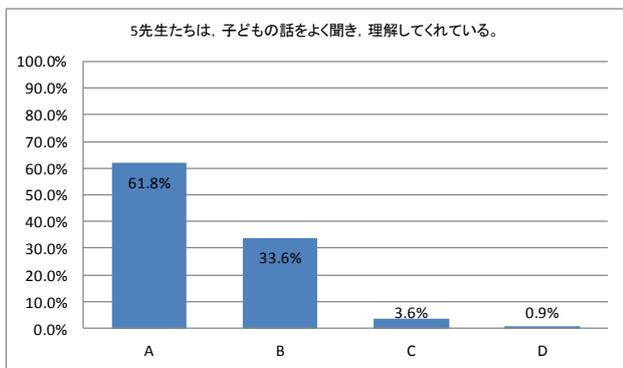
- ・学校開放日を土曜日などに開放してもらおうと土、日休みの人も見ることが出来る。
- ・平日の参加が多いので土曜の参加日も設けてほしい。(仕事を休みづらい)
- ・給食試食会は1年生だけでなく、全ての学年でしていただけると同学年でどのくらい食べているのかを知ることが出来るので良いです。開放日に給食を。
- ・学校開放日は授業参観ではあまり見られない授業や休み時間の様子などを見ることができてとても良いと思います。
- ・子どもたちの様子を見る機会が多く、小規模な学校ならではの良いところですね。開放日は行けてないので是非これから参加しようと思います。
- ・授業参観以外でも子どもの様子が見られるのはうれしい事。でも親が来られない。子どもが淋しい思いをしていることを聞いた時、切なくなりました。



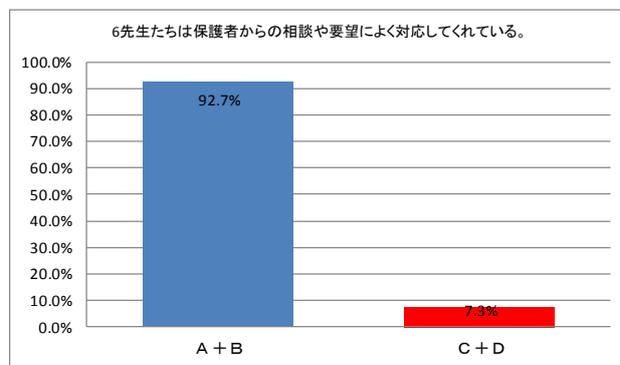
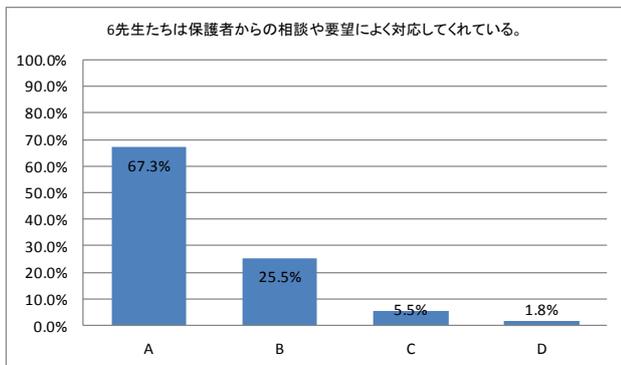
3
・「学校だより・学年だより・図書だより・保健だより等」で学校の様子がよくわかる。
<ul style="list-style-type: none"> ・学年だより、学校だよりでは写真を載せたりして様子が分かって楽しい。修学旅行の写真が自身のカメラ以外の写真を見たり、購入したかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・写真付きはとても楽しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・本児転入時に本児について周知していただいたことで本児の心にも余裕ができたかと思えます。ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校での取り組みが分かり易く書かれていて、見るのが楽しみです。
<ul style="list-style-type: none"> ・様子がよくわかり助かります。
<ul style="list-style-type: none"> ・悪い情報も発信してほしい。「こんなことが起こった、こんなことで困っている」等何もなければ、別に良いですが…。
<ul style="list-style-type: none"> ・全部を離してくれるのではないので、学校の様子がよくわかりとてもいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・「みなもと」は毎回楽しみにしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや他の学年の活動がよくわかるのでうれしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・便りは毎回楽しみにしています。カラーで写真付きですが少し見づらいのが難点ですが…。大人に向けた内容（図書保健だより）もあって勉強になります。校長先生がカメラを持ち、自ら便りに載せる写真を撮っていて最終発見した時はびっくりしました。 ・カラー印刷で分かりやすく楽しめる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ハタハタしていて全てに目を通すことが難しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・プリントが多すぎて大事なことがどこに書いてあるのかわからなくなります。



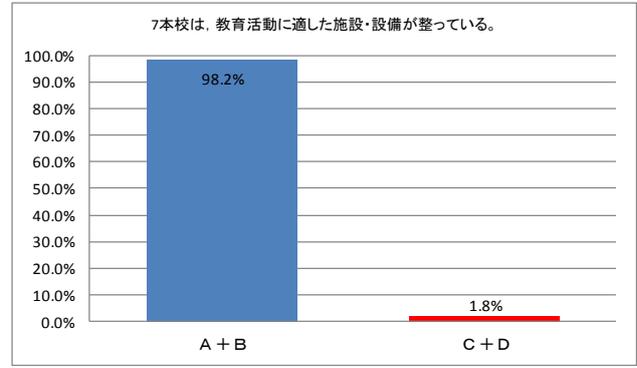
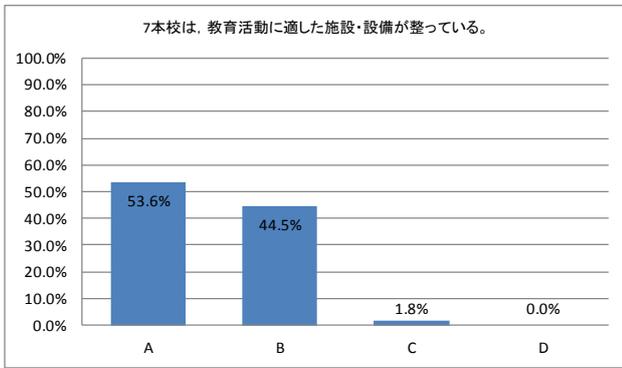
4
<p>・先生たちは、わかる授業、楽しい授業に積極的に取り組んでくれている。</p>
<p>・〇〇先生の教え方、面白いから楽しいと話をしてくれる。</p>
<p>・理科の時間が楽しみみたいです。</p>
<p>・開放日などを見させていただき、一人ひとりできるだけ発言できるように気を配ってくれているのがありがたかったです。すぐに手が上がります、なかなか発言する機会が持ちにくい子、両方に気を向けてくださっているのが分かりました。</p>
<p>親（私たち）とは、習い方が違い、戸惑いますが、子どもは今の学習方法にて頑張っているように思います。</p>
<p>時間にも制限があるのは分かるが理解できなくても打ち切られたと言っていた。宿題にされたが理解できないので解けなかった。</p>
<p>1年時2年時参観に行きましたが、子どもたちが伸び伸びと楽しく授業に参加していました。先生方の取組があっただあと感謝しています。</p>
<p>・我が子の理解力に問題があるとは思いますが、授業が分からないあるいは聞いていないことが多く、わからないまま帰ってくることが多いです。</p>
<p>・先生が怖くて何も聞けないそうです。</p>



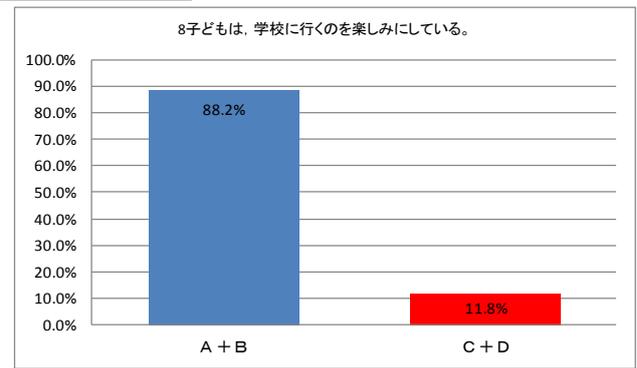
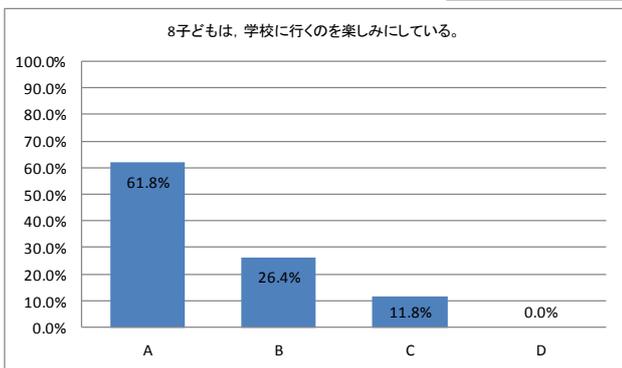
5
<p>・先生たちは、子どもの話をよく聞き、理解してくれている。</p>
<p>・（授業以外での）普段の子どもと先生との関わりや関わり方を実際に目にしていないため、評価しにくい。</p>
<p>・学校内でいろいろな問題を起こしているにも関わらず、丁寧に関わっていただきありがとうございます。</p>
<p>・保健室へ毎日通い話を聞いてもらっているようでありがたい。</p>
<p>・言いたい放題の息子を依田先生はしっかり話を聞いてくれ対応していただき本当にありがたいと思っています。</p>
<p>・学校開放日に学級でのトラブルについて子どもたちが自分の気持ちを話す場面を見ることができました。その場で対応して下さっていることに感謝しています。</p>
<p>・担任だけでなく、子どもの話を平等に聞いてほしい。</p>
<p>・連絡帳等を通して細かな様子はとても参考になります。</p>
<p>・連絡帳で伝えるとすぐに返事をくれてとてもびっくりしました。お忙しい中本当に頭が下がります。連絡の行き違いになってしまったときも、すごく対応してくれて電話や直に声をかけてくれてうれしかったです。</p>
<p>・子どもから学校の様子を聞いてるとそう思いませんでした。</p>
<p>・子どもからの話しか聞けていないので一概に言えませんが…。泣いて話してくることが多々あり先生とのコミュニケーションが出来ているのか心配しています。</p>



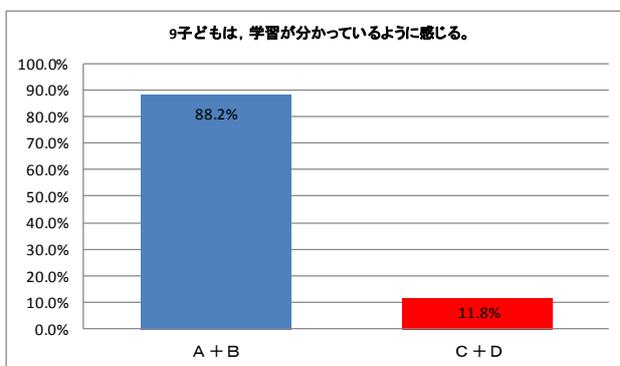
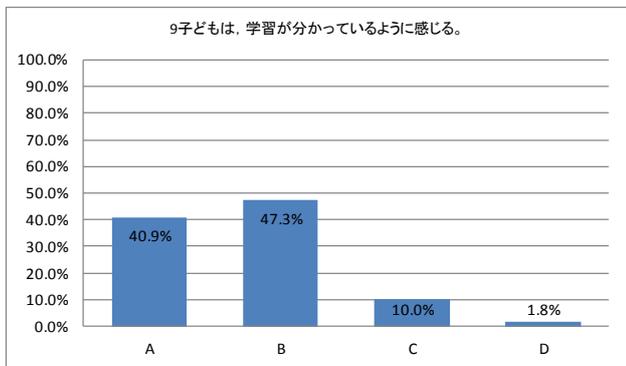
6
・先生たちは保護者からの相談や要望によく対応してくれている。
・連絡帳等にも学校での様子を記入していただき、様子が分かってありがとうございます。
・いろいろ考えていただき助かっています。
・アレルギー対応については大変お世話になりました。
・とても相談しやすく良く対応してくれるのでありがとうございます。
・いつもお話を聞いて頂いてありがとうございます。
・そんなに出てこないと思うのでどんどん質問を投げかけてほしい。
・連絡帳を通じて相談に乗って頂いています。
・いつもありがとうございます。
・相談や要望をしたことが無いから。
・特にケース会議や毎日の連絡帳など学校での子どもの様子を教えて頂ける機会があり、ありがたいことです。担任の先生は勿論、たくさんの先生とお話する機会もあり、安心していきます。いつもありがとうございます。
・いつも細かい配慮や連絡をさせていただいて感謝しています。
・源小学校には、子どもや保護者に寄り添ってくれる印象があります。行事の時や子どもの迎えに学校へ行った時などに感じます。
・その節はお世話になりました。



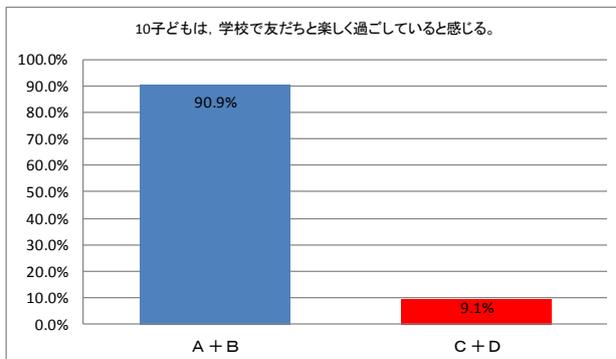
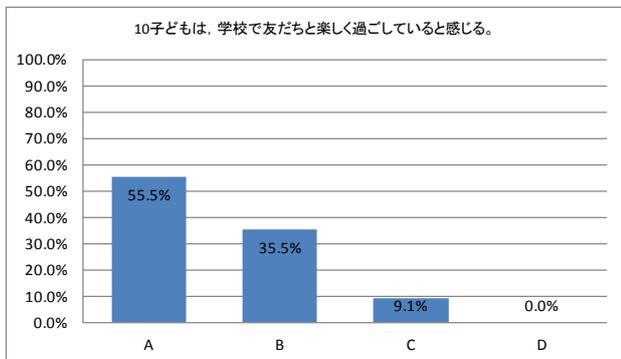
7
<p>・本校は、教育活動に適した施設・設備が整っている。</p> <p>・図書室について。放課後は使用できないようですが、貸し出しは不可でも入室して本を読んだり、自主学習をしたりするの、利用出来たらありがたいと思います。</p> <p>・他の学校が分からないので何とも言えませんが、今のところ不便さは特に感じません。</p>



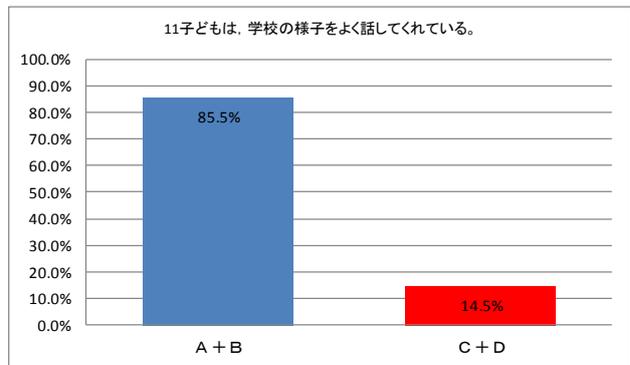
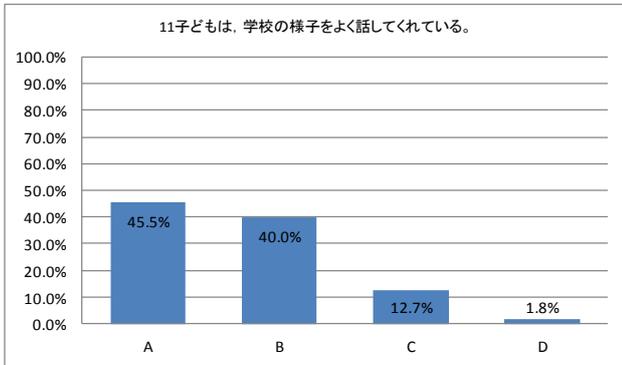
8
<p>・子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。</p> <p>・先生方に会えるのを楽しみにしています。</p> <p>・友だちとのトラブルが多く、行きたくないという事があります。</p> <p>・特に図書の日を楽しみにしている。</p> <p>学校へ行くが楽しくないと言っている。→友だちどうまくいっていないから。</p> <p>・転入後6か月が経ち学校にも慣れてきたように感じます。</p> <p>・体育がある日は学校に行くのを少し渋りますが、毎日楽しく通っています。ありがたいです。</p> <p>・朝、もたもたしますが、前よりはすんなりと行くようになりました。</p> <p>・友だちに会えるのは楽しい。</p> <p>・1年生初めての学校、楽しみにしていた学校。学校が楽しいと思ってくれる1年であってほしかったと切に願っています。</p>



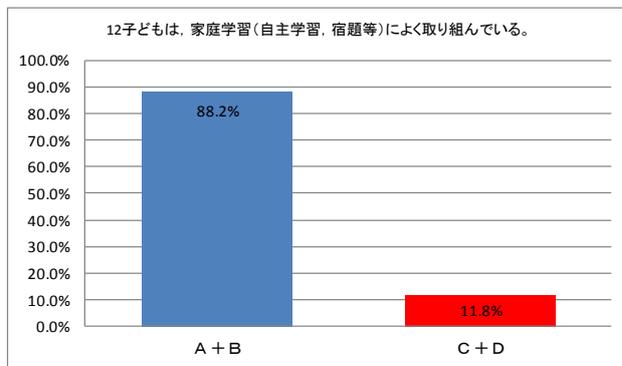
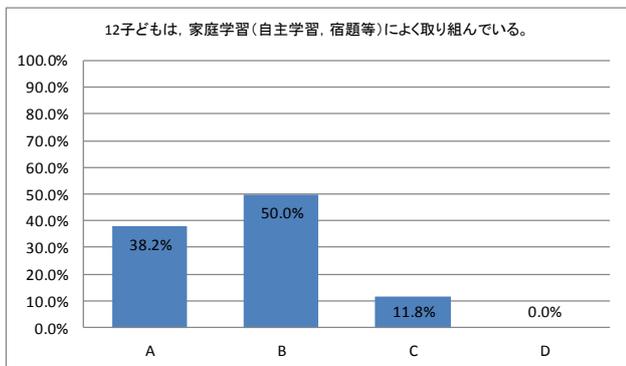
9	
・子どもは、学習が分かっているように感じる。	
	・ 独特の感覚で勉強しているように思えます。学ぶのは好きなようですが。
	・ 算数の授業で子どもたちに分かりやすくポイントいくつも書いてくださるので、ノートを書くのが楽しいと言っています。
	・ 苦手科目は本人にもやる気がなく、授業を聞いていないようだ。
	・ 算数の宿題では毎回のように「わからない」と言っているので授業で理解できていないのかなと感じることがある。
	・ 放課後学習に参加することで、授業や宿題でわからなかったことを補習できている気がします。
	・ 九九については寮の学習でも取り組んでいます。簡単な文章問題あれば解くことが出来ています。「あゆみ」などでまた様子をお聞かせください。
	・ 4年になり学習内容も難しくなっていく中、取りこぼしがないように思っていますが、心配です。
	・ 文章問題が苦手な苦戦しているかなと思います。
	・ 授業中、わかったふりをしているのか、わからなくてもそのままなのか…家で宿題をやってもらえない。
	・ まだ、たまにぐずりますが、本人なりに頑張っているみたいです。
	・ 自主学習のノートや宿題のプリントも丸がついているので理解しているようです。
	・ 分からず帰ってくる事が多くあります。
	・ わからないことが先生に聞けないようでわからないところは分からないままになってしまっています。



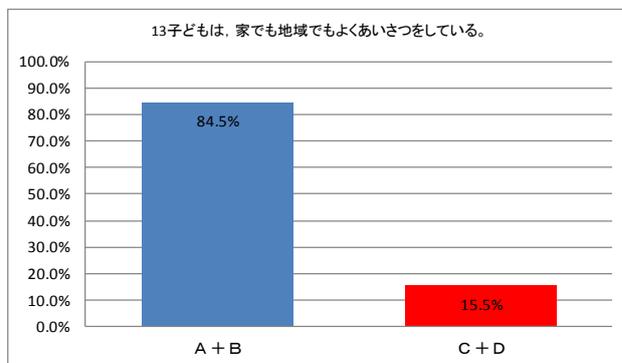
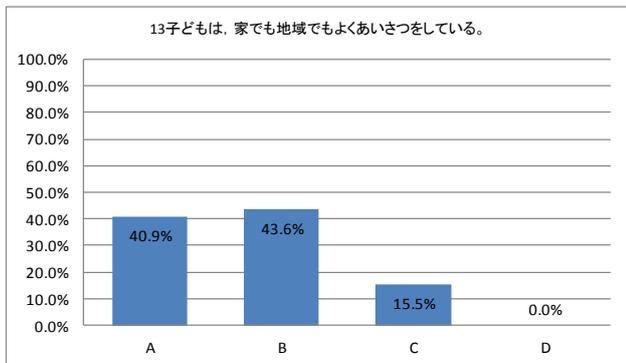
10	
・子どもは、学校で友だちと楽しく過ごしていると感じる。	
	・毎日学校の話をしてくれますが、睨まれた、嫌な事を言われたなどあるのですごく楽しいのか私も分かりません。
	・基本的には楽しく過ごしているが、中には「気持ち悪い」などと陰口をしたり、特定の子と「あなたはあそんじゃダメ」と言ったりなど意地悪いと思う行為をされていると聞くので、今後進級していくに当たり、いじめ等が心配。特に単級で配置の工夫などが難しいため。
	5年生になってからは男友達とはうまくいってように感じる。みんなの仲間に入れていない。
	・友だちとあまりうまくいかない。病院での受診もしている相手との捉え方が違い、悩んでいる様子。
	・よく学校での様子を聞きます。楽しく過ごしているようです。
	・たまに、ぶつかり合いをするみたいです。
	・子どもの話を聞いていると楽しく過ごしていると思いますが、自分が悪い場合の話をしないので本当のところはわかりません。
	・ケンカするようですがお友だちと遊ぶのは楽しいようです。



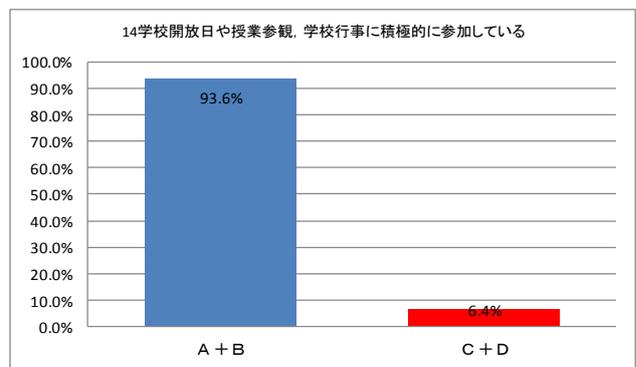
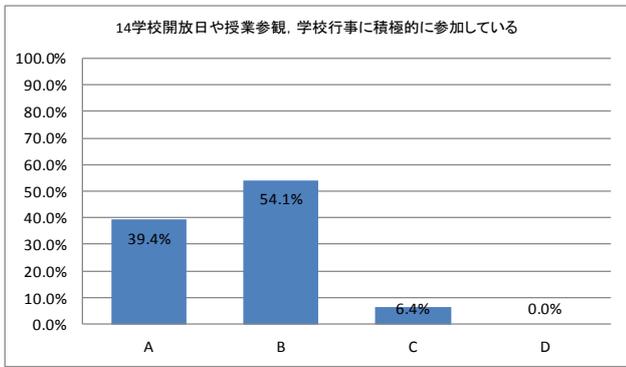
11
<p>・子どもは、学校の様子をよく話してくれている。</p>
<p>・本人に聞かないと話をしてくれません。家での日課に頑張っていて、時間がなく…。</p>
<p>・毎日話してくれます。</p>
<p>・時間がある時に聞くと、話をしてくれるようになりました。</p>
<p>・こちらから聞かないと何も話してくれません。</p>
<p>・自分からは何も話してはくれない。</p>
<p>・夕食を食べながら夜、布団に入ってからなど、ふとした時に話をしてくれます。私から根掘り葉掘り聞かず、子どもが話したいタイミングを持ち、誰かと少しケンカをした時や自分でやる時事が上手くいかなかったことは、後でポツリポツリ出してくれます。</p>
<p>・聞いても「忘れた」という事が多い。</p>
<p>・聞けば話をしてくれます。</p>
<p>・聞くと話してくれます。</p>



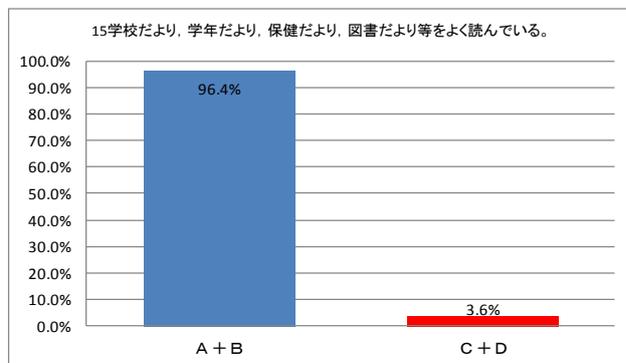
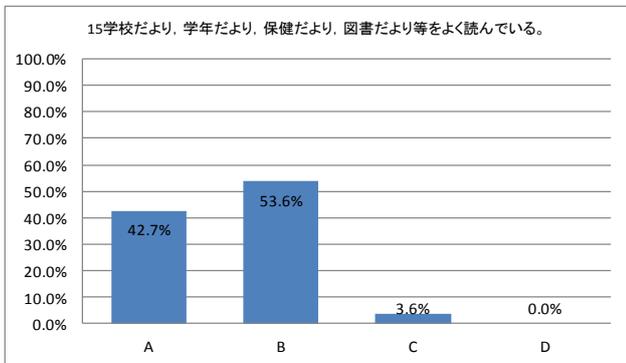
12
<p>・子どもは、家庭学習(自主学習、宿題等)によく取り組んでいる。</p>
<p>・問題集を欲しがり、よく取り組んでいると思います。頑張っています。</p>
<p>・復習や興味のあることを自分なりにやっています。</p>
<p>・自主学習というよりは強制学習。毎日、やってもらうので必死でしんどい時もある。自主学習だから内容は何でも良いと思うが、内容の出来栄でどうしても突っ込みたくなる日が多い。</p>
<p>・毎日やっているが(自主学習)時に雑。</p>
<p>・休みの日は言わないと、やってくれません。</p>
<p>・2学期からは宿題も自主学も取り組めるようになった。</p>
<p>・寮学習にも積極的に取り組んでいます。</p>
<p>おかげさまで家庭学習の習慣がついたようです。夕方、習い事もあり、宿題をする時間が固定されているのがありますが、土日も積極的に自分からする時間を決めて机に向かっています。チャレンジカードの取組も良いと思います。チャレンジカード、これからも続けていってほしいと思います。</p>
<p>・親が在宅時はやっているが親が帰宅前や学童ではあまりやっていないよう。</p>
<p>・習い事があるので宿題を終わらせてから行くように習慣となっています。</p>
<p>・宿題が多すぎて集中力もなくなりますし、家庭内でのコミュニケーションが少なくなっています。</p>



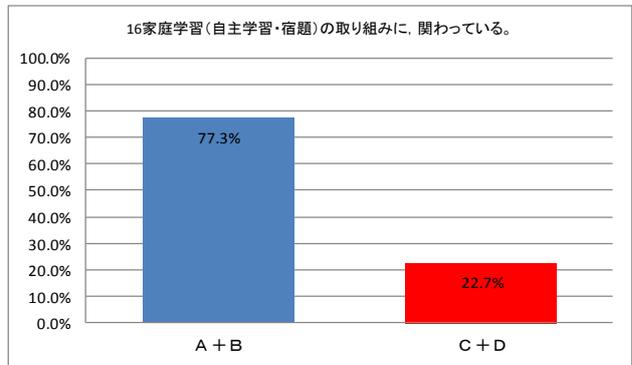
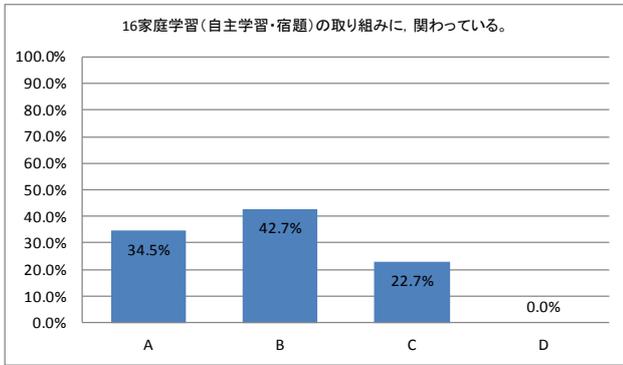
13
<p>・子どもは、家でも地域でもよくあいさつをしている。</p>
<p>・ルールを決めても守れない。</p>
<p>・顔見知りの人にはしているみたいです。</p>
<p>・まだ、親に促されての挨拶が多い。もっと自分から進んであいさつできるようになってほしい。</p>
<p>・自らあいさつすることがあまりできていないので学校でももっと強化していただけるとありがたいです。</p>
<p>・家では挨拶するようになってきたが家の外では出来ていない。</p>
<p>・あいさつは自分からすると親子で決め、公園や近所に散歩に出た時などに親から先に挨拶していました。子どもも挨拶ができるようになりました。</p>
<p>・知らない人にはあいさつしにくいようです。</p>
<p>・入学してから習い事以外であいさつする場面も少なくなり、わかりませんが家では「おはよう」などにちゃんと言うようにしています。</p>



14
・学校開放日や授業参観、学校行事に積極的に参加している
<ul style="list-style-type: none"> ・家では見ることができない。学校での頑張っている姿を見ることができ、励みになります。
<ul style="list-style-type: none"> ・すごく楽しみにしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しみです。
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、楽しみにしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を頻繁に休めないので参加できないことが何度もありました。
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を頻繁に休めないので参加できないことが多かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・親が参加できる貴重な時間として主人も仕事を調節してなるべく二人で参加するようにしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・参加している方だと思います。

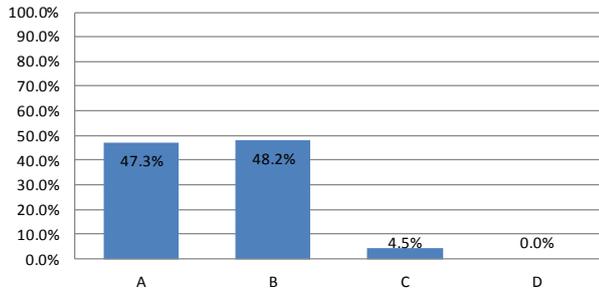


15
<p>・学校だより, 学年だより, 保健だより, 図書だより等をよく読んでいる。</p>
<p>・毎回楽しく読ませてもらっています。</p>
<p>・写真が載っていると, 様子がよくわかり読んでいても楽しいです。</p>
<p>・写真が載っていると様子がよくわかり読んでいて楽しい。</p>
<p>・目を通すようにしています。</p>
<p>・バタバタしていて全てに目を通せない状況です。</p>

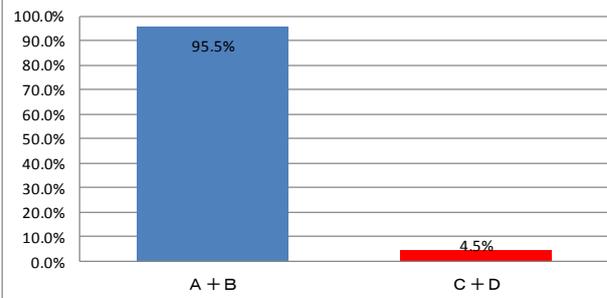


16	
・家庭学習(自主学習・宿題)の取り組みに、関わっている。	
・	時間に追われる毎日と一緒にやることができず、反省しています。
・	時間に追われている毎日で、ゆっくり一緒にという事が出来ないことを反省しています。〇付けを忘れる事も多く申し訳ないです。
・	宿題でわからないところがあれば見るが、基本的には本人任せになっている。
・	九九を中心に1日1枚プリントをやってもらっています。
・	なるべく見るように心がけて声掛けしています。
・	関わらないと、ままならない。
・	毎日、一緒に取り組んでいます。
・	プリントをコピーしたり、わからないところは教えたりしています。
・	あまり向き合ってあげられていません。つい家事に追われさっとしか目を通せなかったり子どもに任せてしまっています。反省…。
・	なるべく付き添ってやりたいが不在のことも多く、家事で付き合う時間も少ないので大変。結局、寝る時間を削ってやっている。
・	宿題が終わらなく、寝る時間が遅くなり、朝もなかなか起きられない。
・	放課後学習の日以外は、つきっきりで見守っています。
・	宿題は毎回見ている。自主学習は本人に任せていますが苦手なものがあった場合、自主学習に取り入れています。
・	自主学習は主に感じたこと、見つけたことを自由に書かせています。

17基本的な生活習慣(早寝, 早起き・朝ごはん等)やしつけに注意を払って取り組んでいる。



17基本的な生活習慣(早寝, 早起き・朝ごはん等)やしつけに注意を払って取り組んでいる。



17

・基本的な生活習慣(早寝, 早起き・朝ごはん等)やしつけに注意を払って取り組んでいる。

・シカトされるほどガミガミと言ったりしています。

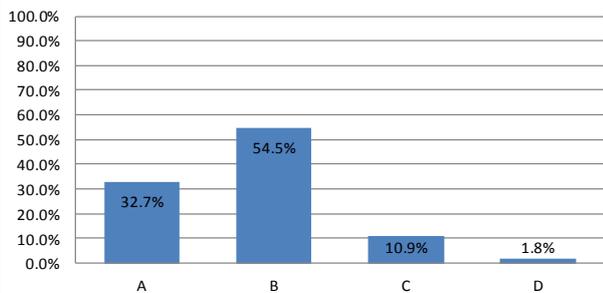
・生活習慣は親を手本に家庭で教えるものだと考えています。学校生活に集中して取り組めるようサポートしていきたいと思います。

・親不在の時(祖父母に頼んでいる間)はTVばかり見ているそうです。

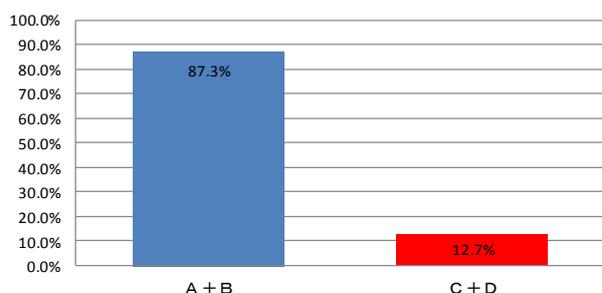
・しつけは出来ませんが生活習慣は出来ていると思います。

・子ども中心の時間で過ごしています。

18ゲームをする時間、テレビを見る時間、外出時などにルールを決めて取り組んでいる。



18ゲームをする時間、テレビを見る時間、外出時などにルールを決めて取り組んでいる。



18

・ゲームをする時間、テレビを見る時間、外出時などにルールを決めて取り組んでいる。

・時間を決めても守ってもらえないです。

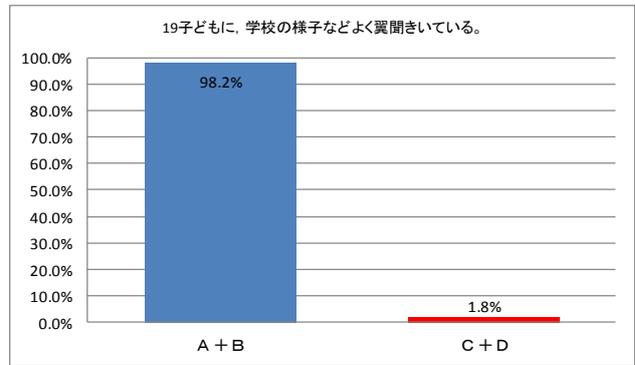
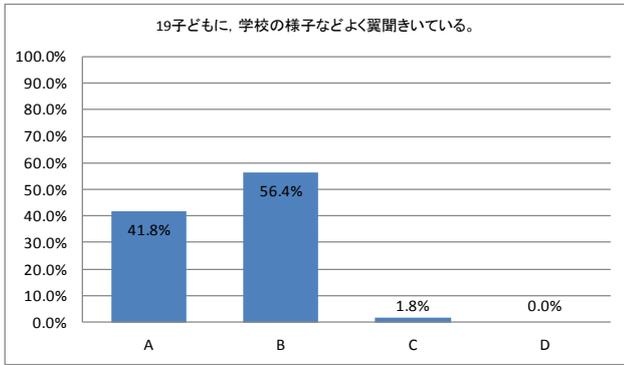
・テレビに関してルールはない。ゲームはほとんどしない、させない。

・ゲームの時間は特に厳しくルールを決めています。

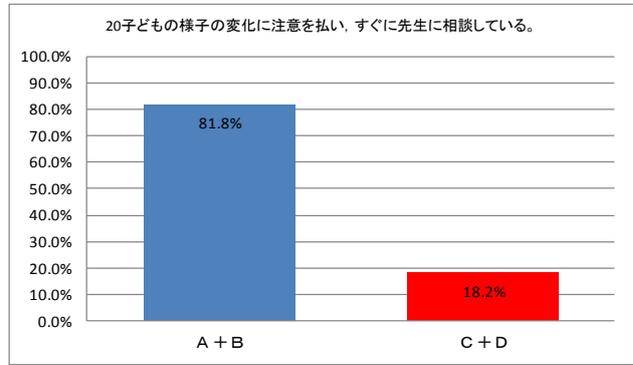
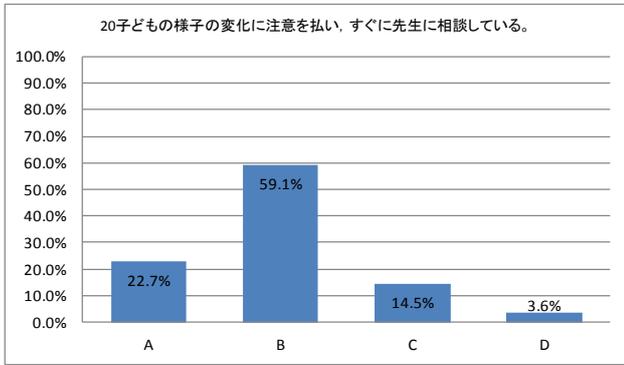
・ゲームは禁止です。周りの話に入れなかったりということも増えてきましたが他で友だちとはコミュニケーションを取ってもらえたらと思っています。基本、テレビもつけません。生き物を紹介する番組や教育テレビなどは見ます。時間は1-2時間です。

・聞いているが答えられないことが多い。

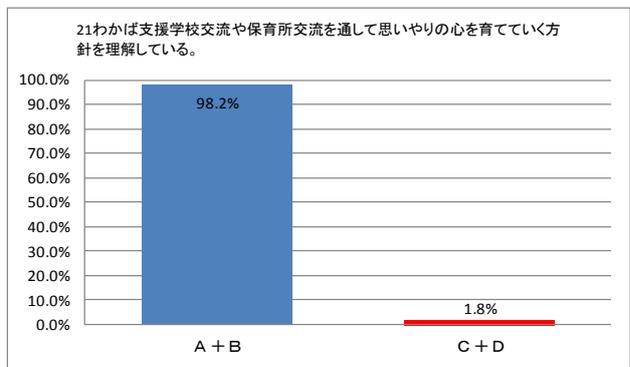
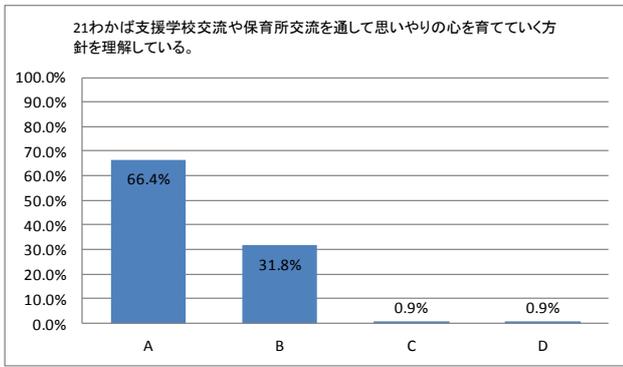
・ゲームはしません。宿題中、御飯中テレビは見ないぐらいです。外出時ルールはありますが守れているか微妙です。



19
・子どもに、学校の様子などよく翼聞きしている。
・年頃のせいかわ、聞いても詳しく話してくれませんが、口調などで何かあったかなどわかるように質問はします。
。聞こうと話しかけても話してはくれない。何か言いたいことがあるようだが本人が話したがない。
・もっと聞きたいと思う。
・主人がほとんど見ている。
・あまりこちらから聞きません。話づらい事もあるだろうと思うので待ちます。時間制で気になる事(体育や図工など)はどんなことをしたか聞いたりしています。
・毎日、帰りに聞いています。
・聞いてもあまり話してくれませんが。



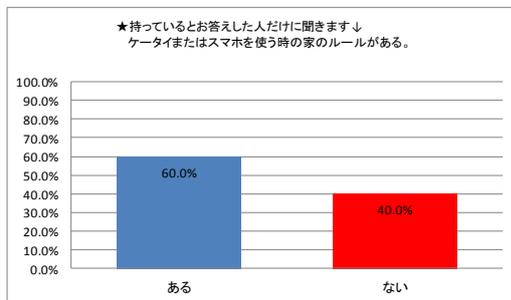
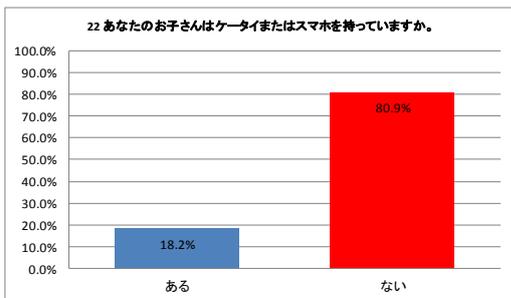
20
<p>・子どもの様子の変化に注意を払い、すぐに先生に相談している。</p>
<p>・毎日学校の出来事を話してくれます。本人はケロっとしていても、親として心配することを言ったりして来るので、翌日に先生に相談するようにしています。</p>
<p>伝えたいことがあっても本人が連絡帳を提出しないので伝わらない。TELしてもいいのかわからない。</p>
<p>・全く相談していない。…悩むこともないですけど。</p>
<p>・連絡帳に置いたり、教頭先生に話したりお世話になってます。</p>
<p>子どもが顔に感情が書いてあるとても分かりやすいので（うちは特に…なのか？）まずは何となく（話を聞き、先生の協力が必要な時は相談しています）</p>
<p>・すぐにとっても、しばらく様子を見ないと分からない。</p>
<p>・特にないので相談はしません。</p>



21

わかば支援学校交流や保育所交流を通して思いやりの心を育てていく方針を理解している。

- ・差別的な目で見ることが少なくなったと感じています。とても良いと思うので今後も続けてほしいです。
- ・とても良いと思います。私が小学生の時はそういった経験はないので子どもたちがうらやましいです。成長していく上でとても大切だし視野も広がり、多面的なとらえ方ができるようになるのではないのでしょうか。
- ・わかば交流に関しては反対ではありません。ですが、階段から突き落とされたり首をしめられたりという話を聞いているので不安はあります。



22

あなたのお子さんはケータイまたはスマホを持っていますか。(どちらかに○印をつけてください。)

- ・クラスの(同学年)の子たちは持っているのか?気になります。
- ・子どもにケータイ, スマホを持たせることに必要性を感じない。
- ・今のところ持っていません。
- ・生きているケータイはないので昔の番号が無いケータイを渡している。
- ・持っていません。

*7名が22番に○印がついておらず、*の「ない」に○印がついていた。所持していると判断し、分析した。

★持っているとお答えした人だけに聞きます↓
ケータイまたはスマホを使う時の家のルールがある。
(どちらかに○印をつけてください。)

- ・特にルールは決めていない。月に1回遊ぶかどうか程度のため

■ やまなしスタンダード

- ① 授業の始めに児童生徒に授業のめあて(目標)を示している。
- ② 話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れている。
- ③ 児童生徒は、他の人の話や発表に耳を傾けている。
- ④ 児童生徒は、ノートをとっている。
- ⑤ 活用・探究など、学んだことを別の場所で使うようにしている。
- ⑥ 授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて(目標)を達成しているかを評価している。
- ⑦ 家庭学習(宿題や課題)と授業が、有機的に結びついている。

■ コンサルテーション

コンサルテーションとは、異なる専門性をもつ複数の者が、援助対象である問題状況について検討し、よりよい援助の在り方について話し合うプロセスをいいます。自らの専門性に基づいて他の専門家を援助する者を「コンサルタント」、そして援助を受けるものを「コンサルティ」と呼んでいます。

■ SC（スクールカウンセラー）

スクールカウンセラー（SC）とは、教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家の職業名、および当該の任に就く者のことである。俗に学校カウンセラーと呼ばれることもある。

■ SSW（スクールソーシャルワーカー）

いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など、児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。こうした児童生徒の問題行動等の状況や背景には、児童生徒の心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等の児童生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っているものと考えられる。したがって、児童生徒が置かれている様々な環境に着目して働き掛けることができる人材や、学校内あるいは学校の枠を越えて、関係機関等との連携をより一層強化し、問題を抱える児童生徒の課題解決を図るためのコーディネーター的な存在が、教育現場において求められているところである。

このため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働き掛けたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて、課題解決への対応を図っていくこととする。

なお、スクールソーシャルワーカーの資質や経験に違いが見られること、児童生徒が置かれている環境が複雑で多岐にわたることなどから、必要に応じて、スクールソーシャルワーカーに対し適切な援助ができるスーパーバイザーを配置する。

